

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

1 子どもの育ちを支えます

(1) 子どもの最善の利益を支えます

① 子どもの視点から計画全体を推進する体制を築きます

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	推進体制の充実と関係者の連携・協働	子育て支援課  児童青少年課	子どもと保護者、市民	「のびゆくこどもプラン 小金井」の推進体制を充実させ、市民の声を反映させる仕組みを検討する。	推進連絡会の充実 庁内推進体制の再検討 点検・評価の仕組みを検討	会議の開催回数 PDCAサイクルの確立	子育て支援課/推進連絡会4回開催	子育て支援課/推進連絡会を1回開催し、平成23年度以降の推進体制の検討を行う	○	【佐野委員】 作成後の公開はどうなっているのか？ 【三橋委員】 連絡会での議論の内容は？推進体制の充実の具 体策についてご教示頂きたい。 【文委員】② 連絡会の回数増も含めて推進体制のいっそうの強 化をお願いします。	＜作成後の公開について＞ →「のびゆくこどもプラン 小金井」(小 金井市次世代育成支援後期行動計 画)策定後は、市報・HPに掲載すると ともに、市内各施設に配布し閲覧でき る体制を取っている。 →進捗状況調査については、推進連 絡会で承認後、HPに掲載し、広報を 図るとともに、情報公開コーナーで公 表を行っている。	
							児童青少年課/部会の開催	児童青少年課/実施なし				【佐野委員】 実施なしで、理由も無いものは不要との判断なの か？ 【三橋委員】 未実施の理由は？

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

② 子どもの権利を尊重します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	子どもの権利を尊重する社会環境づくり	児童青少年課  その他関係各課	市民	「子どもの権利に関する条例」についての広報活動を実施する。	検討部会において今後のパンフレット活用方法等を検討。また、市報などを通じて周知を図る		平成21年3月12日に条例が制定されたため未実施。 平成21年度に検討部会を開催しパンフレットを作成のうえ、市立小中学校に配布する予定。	職員向け「子どもの権利に関する条例の手引」を作成		○	【池田委員】市報などを通しての市民啓発は行われたのか。 【齋藤委員】小学校以下のお子さんのいる家庭への働きかけは具体的にありますか。 【高橋亜美委員】手引き作成後の配布状況は？ 【三井委員】学校の授業の一環で「子どもの権利に関する条例」について学ぶ機会があってもよい。例えば学校公開などの日に。 【三橋委員】確か学校などでも配布していたと理解するが、直近の実施状況及びその評価につき、御教示頂きたい。 【文委員】周知の段階から進んで、子どもにとって「子どもの権利」が自らのものであるとの自覚につながる工夫を考えたいです。 【文委員】②周知の段階から進んで、子どもにとって「子どもの権利」が自らのものであるとの自覚につながるために、手引の内容の見直しや、広報活動の推進をお願いします。	<市民啓発、働きかけについて> →HPに掲載し、広く周知を行っている。また、全市立小中学校に児童生徒向けリーフレットを配布するとともに、子ども週間行事のイベントで配布を行う。  <手引き作成後の配布状況> →平成23年度に入り、市役所部課長職者及び各係に1部ずつ配布を行う。
2	子どもオンズバーソン	児童青少年課	子ども	子どもの声を聞き「子どもにとっていちばんいいこと」を一緒に考えて考えるオンズバーソン(公的第三者機関)を設置する。	実施を含め検討		未実施	未実施			【池田委員】どの程度まで検討は進んでいるのか。 【齋藤委員】未実施の理由は？ 【佐野委員】実施なしで、理由も無いものは不要との判断なのか？ 【高橋亜美委員】未実施の理由を明確にしていきたい。親や家族を頼れない子どもたちにとってオンズバーソンの存在は重要。児童虐待の早期発見にも繋がる。 【高橋智委員】子どもの権利擁護なくしてこどもプランの策定はありえないが、子どもの権利擁護の象徴的機関の未検討・未実施が何年も続くのは不適切である。ただちに「子どもオンズバーソン」の実施に向けて、課題の検討に着手すべきである。 【三橋委員】未実施の理由は？ 【文委員】②オンズバーソン設置先行市の事例の研究や、先行市オンズバーソンを招いた研修会などの開催によって、設置の実現をぜひお願いしたい。	<検討状況について> →平成23年度に入り、部会において検討中である。
3	子どもの人権講座	公民館	市民	ありのままの子育て、子どもの権利に関する条例、不登校、特別支援教育、子どもの居場所、小金井の子育て等の問題について語り合う講座を開催する。	継続	参加者数	6回開催、174人	「みんなで支える子どもの居場所～もつと使える小金井の子どもの権利条例」7回シリーズを実施。延べ参加人数257人		○	【文委員】公民館での開催だけでなく、小・中学校でのイベントの開催も検討していただきたいです。また、目標値は、「継続」よりも「拡大」がふさわしいのではないのでしょうか。 【三橋委員】評価は？今後も事業を継続するのか？また、具体的な内容に関して、公開、フィードバックを実施しているか？ 【文委員】②公民館での開催だけでなく、小・中学校でのイベントの開催も検討していただきたい。また、目標値は、「継続」よりも「拡大」がふさわしいと思う。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

③ 子どもの社会参加を推進し、意見の表明など子どもの自己実現を応援します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	子どもの意見表明の場の設定と意見の反映	児童青少年課	子ども	子どもの考え方や意見を表明できる場を作り、反映する。児童館内に意見箱を設置。青少年議会や大人との懇談会を開催する。	児童青少年課/継続	児童青少年課/投票数	児童青少年課/各児童館に設置。意見なし	児童青少年課/各児童館に設置/児童館4館合同事業として中・高生ボランティア企画による事業(「お化け屋敷」を実施した)		○	【高橋亜美委員】 意見箱の投票数は? 【三橋委員】 評価は? 今後も事業を継続するのか? また、具体的な内容に関して、公開、フィードバックを実施しているか? 【文委員】② 意見箱のみならず、意見をすくい上げるためのサイトの立ち上げを希望します。	<意見箱の投票数について> →平成22年度投票数98件  <今後の事業継続、内容の公開、フィードバックについて> →今後も事業を継続する予定。また、内容の公開は行ってないが、事業には活かしている。
		指導室			指導室/継続	指導室/参加人数、質問件数	指導室/青少年(中学生)議会8/28実施、市立中学校代表者32人参加	指導室/日程を9月に変更し、生徒会役員と市長が懇談する機会を設けた		○	【三橋委員】 着実に実施されていると考えるが、部局・事務局の評価は? 今後も事業を継続するのか? また、具体的な内容に関して、公表、フィードバックを実施しているか?	<青少年議会について> →青少年議会については、平成22年度は議場、市長との調整が付かず、生徒会役員と市長との懇談会を実施した。平成23年度は新市長就任直後で実施できず。
2	子どもの公共施設の利用	児童青少年課	子ども	児童館や公民館、体育館等、子どもだけでも利用できる公共施設の充実を図る。	児童青少年課/継続	児童青少年課/来館者数	児童青少年課/継続	児童青少年課/継続		○	【三橋委員】 単に継続するだけでなく、課題・改善をする仕組みがあるのかどうかについて説明頂きたい。また、前小・南小地域の児童館建設予定はいつ実施されるのか? 【文委員】② 居場所づくりはとても大切な、子ども支援施策だと思いますので、施設の利用しやすさについての一層の工夫をお願いします。子どもだけで企画する展示会などの開催なども実現できればよいと思います。	
		公民館			公民館/継続		公民館/東分館(団体利用室)本町分館(元図書室)員井南分館(元図書室)上記以外の施設利用については、小学生:親の承諾書および保護者1人同伴、中学生:親の承諾書が必要	公民館/東分館(団体利用室)本町分館(元図書室)員井南分館(元図書室)上記以外の施設利用については、小学生:親の承諾書および保護者1人同伴、中学生:親の承諾書が必要		○	【三橋委員】 西の台の図書館は子どものみで利用可能では? そもそもどういう基準で制限をしているかが良くわからない。 【文委員】② 居場所づくりはとても大切な、子ども支援施策だと思いますので、施設の利用しやすさについての一層の工夫をお願いします。子どもだけで企画する展示会などの開催なども実現できればよいと思います。	
		生涯学習課			生涯学習課/継続	生涯学習課/参加人数	生涯学習課/土曜日・日曜日・祝日・春季・冬季休業中の市立小学校9校の校庭開放を実施(午前8:30~12:30、午後13:00~17:00。12月から2月の冬季は午前12時まで、午後は12:30~16:00まで)	生涯学習課/土曜日・日曜日・祝日・春季・冬季休業中の市立小学校9校の校庭開放を実施(8:30~12:30、13:00~17:00。12月から2月は8:30~12:00、午後は12:30~16:00)、遊び場開放6,982人、団体開放73,067人		○	【齋藤委員】 遊び場開放の人数が少ないのではと思います。 【三橋委員】 中学校の校庭開放は実施されないのか? 【文委員】② 居場所づくりはとても大切な、子ども支援施策だと思いますので、施設の利用しやすさについての一層の工夫をお願いします。子どもだけで企画する展示会などの開催なども実現できればよいと思います。	<中学校の校庭開放について> →要綱に基づき小学校のみ校庭開放を実施している。
		生涯学習課(スポーツ振興係)			生涯学習課/継続	生涯学習課/人数	生涯学習課(スポーツ振興係)/中学生以下57,976人	生涯学習課(スポーツ振興係)/中学生以下36,492人		○	【三橋委員】 スポーツ振興係は総合体育館と栗山体育館のことで良いか? (具体的に明記して欲しい)。その他関係の未実施の理由は? 誰が取りまとめるのか? 【文委員】② 居場所づくりはとても大切な、子ども支援施策だと思いますので、施設の利用しやすさについての一層の工夫をお願いします。子どもだけで企画する展示会などの開催なども実現できればよいと思います。	
	その他関係各課			その他関係各課/検討		その他関係各課/未実施				○	【池田委員】 その他の関係機関で、実施する予定のものはあるのか。 【文委員】② 居場所づくりはとても大切な、子ども支援施策だと思いますので、施設の利用しやすさについての一層の工夫をお願いします。子どもだけで企画する展示会などの開催なども実現できればよいと思います。	<その他関係機関実施予定について> →進捗調査、推進連絡会にて関係各課に確認したが、実施もしくは予定の回答無し。

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

④ 子どもへの虐待や犯罪を防止します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	虐待対応事業	子育て支援課	子ども保護者、関係機関	子どもを虐待から守るため、児童相談所や民生・児童委員、警察署、その他関係機関とのネットワークを強化し、関係改善が必要な親子へのサポートなどを行う。緊急の事例に関しては、児童相談所と協議し、一時保護につなげる。	推進調整機能の強化	協議会の開催回数	子ども家庭支援センターを核として連携実施 相談件数266件 平成19年10月に先駆型へ移行。要保護児童対策地域協議会を設置し、他機関とのネットワークを築く(代表者会議1回、実務者会議3回、ケース検討会43回)	子ども家庭支援センターを核として連携実施 相談件数532件(前年度継続指導件数、虐待疑いを含む) 要保護児童対策地域協議会を開催し、他機関とのネットワークを築く(代表者会議1回、実務者会議4回、ケース検討会47回)		○	【池田委員】 学校等におけるケース会議が多くなっていくものと考えられる。 【齋藤委員】 虐待相談件数が増加のなか職員の方々の対応が人的に厳しいのではないだろうか。本当に良く対応していただいています。 【三橋委員】 相談件数が20年度と比べて増えているが、事業の推進・調整機能の強化との関係はどのようになっているか？(協議会の開催回数だけの評価で十分か?) 【文委員】② 相談件数の急増にみられるように、近年の緊急課題です。発生防止、早期発見・支援をテーマに諸施策をされているようなので、今後ともより一層の活動強化をお願いします。	<相談件数の増加と事業の推進・調整機能の強化との関係について> →児童虐待に対する地域の関心の高まりとともに、要保護児童対策地域協議会を通じてのネットワーク強化と推進、子ども家庭支援センターの調整機能の強化により、市の児童虐待の中核機関としての認知度が向上したことが相談件数増加の要因の一部となっている。
2	虐待防止啓発事業	子育て支援課  指導室	子ども保護者、市民など	子どもが自分自身の心と身体を守る方法を学ぶとともに、虐待防止のマニュアル作成や早期発見に向けたキャンペーン、虐待を防ぐための相談を行う。	子育て支援課/平成21年度に虐待防止マニュアルを作成し啓発を行う	子育て支援課/キャンペーンの実施状況	子育て支援課/子ども家庭支援センター、児童相談所、関係機関と連携協力しながら実施。  子育て支援課/子ども家庭支援センター、児童相談所、関係機関と連携協力しながら実施。  市内の子育て家庭を対象に、家族等に話せない悩み事を話せる第三者機関として子ども家庭支援センターを周知するために、カードを作成し配布。また、虐待通報・相談窓口を市報に毎号掲載	子育て支援課/継続(子ども家庭支援センター、児童相談所、関係機関と連携協力しながら実施。) 市内の子育て家庭を対象に、家族等に話せない悩み事を話せる第三者機関として子ども家庭支援センターを周知するために、カードを作成し配布。また、虐待通報・相談窓口を市報に毎号掲載		○	【高橋亜美委員】 家庭に向けてだけでなく、子ども自身に向けた広報活動の充実も必要と考える。学校で虐待から暴力から身を守る授業が何度でも提供される必要がある。しつけという名の下に暴力をふるわれることを防ぐにも親への教育・子どもへの教育どちらからも展開されなければならない。 【三橋委員】 虐待防止マニュアルの作成状況及びキャンペーンの実施状況は？ カードの配布は今後も継続して行われるのか？ 【文委員】② 子育て悩み相談のコミュニティサイトの開設を検討してほしい。	<虐待防止マニュアル作成状況及びキャンペーン実施状況について> →平成21年度に観察点や通告プロセス等をまとめた、関係機関向けの「子ども虐待防止のための発見・対応マニュアル」を作成し配布済。キャンペーンは、毎年11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、市報等で児童虐待についての広報を実施している。  <カードの配布について> →継続して実施している。
					指導室/継続	指導室/人権教育推進資料(人権教育の計画づくり)作成・配布	指導室/ ①人権教育推進資料(人権教育の計画づくり)作成・配布 ②東京都人権尊重教育推進校指定(緑中)を活用した人権教育を推進			○	【三橋委員】 人権教育と虐待防止の関係(効果)は？(子どもが被害者となる場合か加害者となる場合か?) 【文委員】② 人権教育の一環としての「人権の花」活動は、中止した方がよいと思います。花の手入れが、あまりにも、お粗末だと感じます。	<人権教育と虐待防止の関係について> →東京都人権施策推進指針等に基づく人権課題「子供」に基づき、児童虐待の早期発見、発見後の組織的な対応、及び関係機関との継続的な連携、子どもが被害者とならないような児童虐待への適切な対応を行っている。

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答	
								平成22年度事業実績	未実施等の理由				
3	子どもを犯罪から守る防犯対策	地域安全課	子ども	学校、保育所や学童保育所などでの防犯対策に努め、ボランティアによる市内パトロールなど、子どもが安心して過ごせるまちづくりを行う。	地域安全課／充実 平成21年度より「こきんちゃんあいさつ運動」を実施	地域安全課・保育課・教育委員会・児童青少年課／犯罪件数の減少	地域安全課／自主防犯活動団体に防犯資機材支給(延べ14団体、390個の資機材を支給)、青色回転灯装備車両(合計16台)による職員防犯パトロール、こがねい安全・安心メール配信、子どもを見守る家(カンガルーのポケット)協力者講習会を2回開催・参加者55人、小金井安全・安心まちづくり協議会実施	地域安全課／子どもの安全確保方策として、こがねい安全・安心あいさつ運動を推進し、運動の参加者に缶バッジを1,830個支給。平成22年度防犯資機材支給は、延べ16団体、366個の資機材を支給。青色回転灯装備車両16台を使用し、通常業務を通してのパトロールを実施。小金井安全・安心メールを131件配信。小金井安全・安心まちづくり協議会を2回実施	子どもを見守る家(カンガルーのポケット)協力者講習会は、受講者が一定割合に達したため平成21年度で終了。平成22年度からは講習対象者を広げた市民防犯講習会を実施している	○	【齋藤委員】 カンガルーのポケットの取りまとめ窓口を地域安全化に移行し防犯対策等に生かしてもらいたいと思います。 【三橋委員】 詳しい内容は理解出来ていませんが、良いと思います。更なる地域力の強化により、安全なまちづくりが強化されることを望みます。 【文委員】② パトロールの未実施が解消され、この進捗状況が継続されることを望みます。		
								保育課	保育課／継続	保育課／非常通報装置を各園に設置。民間保育所では、警備員の配置や防犯カメラを設置している園もある。防犯パトロールは未実施	保育課／非常通報装置を各園に設置。民間保育所では、警備員の配置や防犯カメラを設置している園もある。防犯パトロールは未実施	【三井委員】 保育園、学校、学童保育所いずれも門の施錠が行われていない不特定多数の人が入ることが可能。入る前の対策が必要ではないか？ 【三橋委員】 学校のように朝晩だけでも人を配備できないか。かかてより、父母からの要望強い。評価方法が不明。パトロールが未実施の理由。 【文委員】② パトロールの未実施が解消され、この進捗状況が継続されることを望みます。	<パトロールの未実施について> 一現在の職員体制では実施困難のため未実施となっている。他の重要課題等が山積しており、いつれ検討を行っていく予定。
								教育委員会(学校教育部)	教育委員会(学校教育部)／継続	教育委員会(学校教育部)／学校の門の施錠の徹底、防犯ブザーの貸与、小中学校での地域安全マップ作り	教育委員会(学校教育部)／学校の門の施錠の徹底、玄関等の開錠、学校内の異常の有無の確認・報告(早期学校管理)	【三井委員】 保育園、学校、学童保育所いずれも門の施錠が行われていない不特定多数の人が入ることが可能。入る前の対策が必要ではないか？ 【三橋委員】 防犯ブザーの貸与や地域安全マップの作成は未実施か？玄関の開錠と防犯対策の関係は？ 【文委員】 ②パトロールの未実施が解消され、この進捗状況が継続されることを望みます。	
								児童青少年課	児童青少年課／継続	児童青少年課／非常通報装置・防犯グッズ(さすまた)等全施設に配置。また、職員を対象としたさすまた講習会を実施。	児童青少年課／非常通報装置・防犯グッズ(さすまた)等全施設に配置。また、職員を対象としたさすまた講習会を実施	【高橋亜美委員】 さすまたと共に催眠スプレーも導入してはどうでしょうか？ 【三井委員】 保育園、学校、学童保育所いずれも門の施錠が行われていない不特定多数の人が入ることが可能。入る前の対策が必要ではないか？ 【三橋委員】 さすまたは子どもが扱うのでしょうか？全施設とは、学童、児童館のことか？。実際、どの程度の防犯対策効果があるのかわかりません。 【文委員】 ②パトロールの未実施が解消され、この進捗状況が継続されることを望みます。	<さすまたの使用について> 一さすまたは、職員が使用することを想定している。 <非常通報装置・防犯グッズ等の配置状況について> 一児童館・学童保育所全施設に配置している。
4	薬物・IT関連の被害予防のセーフティ教室	指導室	小学生、中学生	小金井警察署担当官を講師に迎え、薬物、インターネットを利用する際に起きる被害、加害(出会い系サイト、ネット犯罪、チャットやメール、掲示板への書き込みなどでの他人への中傷など)について学び、犯罪を防止する。	継続	実施学級数	セーフティ教室を小・中学校全校実施。薬物乱用防止教室・インターネット犯罪被害防止教室の実施	セーフティ教室を小・中学校全校実施。薬物乱用防止教室・インターネット犯罪被害防止教室の実施		○	【高橋亜美委員】 実施回数は年1回ですか？少なくとも年2回、時期としては夏休み・春休み前に実施するのが効果的だと思います 【三橋委員】 学校公開で、薬物防止の授業を聞いたが、大変勉強になった。防犯教育も引き続き力を入れて欲しい。 【文委員】② 継続的に行うことで、犯罪防止に役立てることとともに、ITについては、その利点も同時に伝えることが必要だと思う。	<実施回数について> 一実施回数は基本的に年1回、実施時期は学校により異なり、6、9、10、11、1、3月に実施している。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画)事業進捗状況

(2) 子どものゆたかな体験と仲間づくりを支えます

① 自立を育む体験活動を応援します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利 に関する条例 の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	文化振興活動事業	児童青少年課	子どもと保護者	音楽や演劇鑑賞(親子のファミリーコンサート、親子演劇鑑賞会など)を通じて子どもの情熱を培い、親子の触れ合いや対話の機会を設ける。	検討	参加人数	未実施	未実施	実施会場の確保が困難であったため。また、事業内容から、担当課について検討する必要がある		【池田委員】 何時から検討を始めるのか。 【齋藤委員】 交流センターで実施できるようになってもらいたいと思います。 【三橋委員】 誰が主体となるのかを確認する必要あり。実際は、市内で様々な子供向け文化活動はおこなわれているのでは？	<検討開始時期について> →平成23年度、実施形態を含め検討中
2	子どもの体験事業	公民館	子どもと保護者	「子ども体験講座」「学習体験収穫」「わんぱく団活動」などを行う。	公民館/継続	公民館/利用者数	公民館/3講座、16回、543人	公民館本館「子ども自然体験クラブ」4回シリーズ、延べ参加人数105人		○	【三橋委員】 回数、参加人数が大きく減っている理由は？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
	生涯学習課				生涯学習課/継続	生涯学習課/参加人数	生涯学習課/清里山荘自然体験教室年2回実施、夏季参加者人数43人、冬季44人	生涯学習課/清里山荘自然体験教室年2回実施、夏季参加者人数35人、冬季36人		○	【三橋委員】 内容面での部局の自己評価を確認したい。また、参加人数もこの程度が適当か？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<参加人数について> →施設の状況、受入体制から、これ以上の定員増加が難しい。平成22年度冬季は30人の定員を上回る36人の受入を行っている。
	経済課 農業委員会				経済課・農業委員会/継続	経済課・農業委員会/参加生徒数、児童数、世帯数	経済課・農業委員会/ 学童収穫体験事業(市内小学校9校、参加児童1,632人) 農家見学、出前講座(市内小学校9校、1~3年生、参加児童1,447人) 職場体験事業(市内中学校4校、参加生徒54人)	経済課・農業委員会/ 学童収穫体験事業(市内小学校9校、参加児童1,656人) 職場体験事業(市内中学校2校、参加生徒8人)		○	【三橋委員】 農業体験は子どもに良い体験となるのでどんどん進めて欲しい。出前講座が無くなった理由は何？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<出前講座が無くなった理由について> →農家見学、出前講座は、学校から農家の紹介依頼があったものを農家に紹介するのみであったため、平成22年度の事業実績より記載を削除したもので、学校からの農家紹介依頼には継続して対応している。
	児童青少年課				児童青少年課/継続	児童青少年課/参加人数	児童青少年課/わんぱく団活動5日間累計375人参加	児童青少年課/わんぱく団活動6日間累計414人参加		○	【三橋委員】 わんぱく団活動は夏休みのクワラ山で行われているものごとか？(そうであれば、小金井らしい非常に良い活動なので、引き続き継続・拡充して欲しい) 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<わんぱく団活動について> →質問にあるとおりです。
3	各種スポーツ事業	生涯学習課(スポーツ振興係)	子どもと保護者など	親や指導員も参加し、子どもとの交流を図るよう「①少年少女野球教室」「②ジュニアサッカーフェスティバル」「③親子体操教室」などを実施する。	①継続 ②継続 ③継続	①利用児童数 ②利用児童数 ③アンケートによる満足度	①少年少女野球教室 参加者数139人(1回実施) ②ジュニアサッカーフェスティバル 参加者150人(1回実施) ③親子体操教室 参加者数152人(全16回) アンケートによる満足度:良 そのほか「水泳教室」41人(全10回)、「なんでもやってみようスポーツ教室」21人(全8回)を実施	①少年少女野球教室 参加者数118人(1回実施) ②ジュニアサッカーフェスティバル 参加者74人(1回実施) ③親子体操教室 参加者数130人(全16回) アンケートによる満足度:良 そのほか「水泳教室」21人(全5回)、「なんでもやってみようスポーツ教室」36人(全8回)を実施		○	【三井委員】 一つのスポーツに親子で参加できるようにルールを変えてみてはどうか？ 【三橋委員】 全体的に人数が減っている理由はあるか？アンケートによる満足度が評価基準に入っている音は素晴らしいが、「良」だけではなく、もう少し詳細を教えてください。 【文委員】 サッカーフェスティバルの参加者半減の理由は何でしょうか。未経験者でも参加できるドッチボールのような種目は考えられませんか。また、「なんでも」のスポーツ種目にはどんなものがあるのでしょうか。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<サッカーフェスティバル参加者減少について> →雨天のため、通常グラウンドで行っていたものを、体育館で実施したことによる。  <なんでもやってみようスポーツ教室の種目について> →ヒップホップダンス教室を実施している。
		図書館ボランティアとの協働	図書館	おはなし会をボランティアと協働で行う。	継続	実施箇所数	本館、東分室、緑分室において、おはなし会をボランティアと協働で行った(本館3回79人、東分室1回14組、緑分室24回707人)	本館、東分室、緑分室において、おはなし会をボランティアと協働で行った(本館3回21人、東分室1回27組、緑分室22回528人)		○	【三橋委員】 東分室以外は人数が減っているのが気になるが、引き続き継続・拡充してください。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
5	図書館事業	図書館	子ども	貸し出しサービス、レファレンスサービス(参考業務)、子ども対象の各種事業(おはなし会・工作の会・映画会)、ヤングアダルトサービス、学校図書館との連携・援助・資料の収集と組織化・他市図書館との相互貸借、移動図書館の巡回を行う。	充実	利用者数	おはなし会/本館45回877人、東分室4回114人、緑分室22回707人 おたのしみ会/本館2回42人、東分室1回25人 映画会/本館1回97人 学校、学級、ボランティア団体への団体貸出 小学生の1日図書館員(東1回5人、緑1回9人) 中学生の職場体験(本館・東・緑各1回、計3人) 中学生の職場訪問(本館1回2人)	おはなし会/本館41回240人、東分室4回66人、緑分室22回528人 おたのしみ会/本館2回72人、東分室1回39人 映画会/本館1回72人 学校、学級、ボランティア団体への団体貸出 小学生の1日図書館員(東1回4人、緑1回10人) 中学生の職場体験(本館・東・緑各1回、計6人)		○	【文委員】 就学前のニーズ調査では最上位でしたが、参加者半減の理由を教えてください 【三橋委員】 お話し会の人数、特に本館が大きく減っているが評価は？ 【文委員】② 本館での「おはなし会」参加者の減少から判断して、「おはなし会」の実施曜日や時間、また内容や進め方について再検討する必要があると思います。	<お話し会参加者減少理由について> →開催回数や広報方法(市報やHP掲載、関係施設へのチラシ設置等)は変えていないものの、平成20年度の参加者をピークに減少している。子どもの数の減少や、共働きの保護者の増加に伴う日中の参加できる子どもの減少などが考えられるが、これといった原因の特定には至っていない。

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答			
								平成22年度事業実績	未実施等の理由						
6	土曜日における受入れ事業	児童青少年課  公民館  図書館  生涯学習課(スポーツ振興係)	子ども	土曜日に、体育施設・図書館・児童館・公民館などの公共施設を子どもへ開放する。また、子どもが参加できるさまざまな事業を開催する。	児童青少年課/充実	児童青少年課/参加人数	児童青少年課/土曜日実施の事業 82回 延べ3,220人	児童青少年課/土曜日実施の事業 58回 延べ2,214人		○	【三橋委員】 実施事業や参加者が減っているが理由・評価は？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。				
								公民館/継続	公民館/講座数			公民館/子ども体験講座を2講座7回開催、延べ参加人数120人	公民館東分館/「ひがし子ども囲碁教室」46回、延べ参加人数319人 公民館本館/「子ども自然体験クラブ」4回シリーズ延べ参加人数105人	○	【三橋委員】 実施による評価(利用者評価、実施者評価、部局評価)は？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。
								図書館/充実	図書館/参加者数			図書館/緑分室において月1回土曜日のおはなし会を実施(小学生の部)全10回・294人参加(幼児・小学生の部合同)全2回、113人参加	図書館/緑分室において月1回土曜日のおはなし会を実施(幼児の部)全10回・277人(小学生の部)全10回・294人参加(幼児・小学生の部合同)全2回、113人参加	○	【三橋委員】 実施による評価(利用者評価、実施者評価、部局評価)は？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。
								生涯学習課(スポーツ振興係)	生涯学習課(スポーツ振興係) / ①継続 ②継続			生涯学習課(スポーツ振興係) / ①利用児童数 ②利用児童数	生涯学習課(スポーツ振興係) / 毎週土曜日実施 ①総合体育館プール無料開放(9時～正午)3,341人 ②土曜スポーツクラブを実施(9時～正午)1,404人	生涯学習課(スポーツ振興係) / 毎週土曜日実施 ①総合体育館プール無料開放(9時～正午)1,942人 ②土曜スポーツクラブを実施(9時～正午)512人	○
7	中・高校生ボランティアの育成	児童青少年課	12歳～18歳の子ども	中・高校生ボランティアを育成する。	充実	登録・参加者数	小金井市児童館ボランティア登録者477人	各種児童館行事において、日常的に中・高校生世代のボランティアの協力を得ている。参加者数976人		○	【三橋委員】 登録者と参加者の関係は？ (20年度の参加者は何人か？ 22年度の登録者は何人か？) 【文委員】② いっそうの推進をお願いします。	<22年度の登録者数について> →登録者数164人			
8	地域少年少女スポーツ団体への支援	生涯学習課(スポーツ振興係)	地域の少年少女スポーツ団体	体育協会との連携により、少年少女スポーツ団体に対し、財政的支援を行う。	継続	利用児童数	10団体447人 団員交流大運動会(参加者700人)や、運動適性テスト(参加者329人)など年間を通して活動を行っている。	11団体470人 団員交流大運動会(参加者600人)や、運動適性テストなど年間を通して活動を行っている		○	【三橋委員】 良い活動だと思われるが、対象団体の範囲(決め方)など、具体的な事業内容がよく分からないので教えて頂きたい。利用児童数だけでは、評価が下がってしまうことにならないか？ 【文委員】② いっそうの推進をお願いします。				

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

② 子どもの居場所と交流の場を充実します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	子ども家庭支援センター(ゆりかご)事業	子育て支援課	子ども保護者	親子が自由に遊ぶ場を提供し、職員が支援することにより親子の交流を促進する。子育てに関わる情報の提供や情報交換を行う活動の拠点、母親の自主活動を支援し子育てグループの指導者育成、ボランティア活動に関する情報収集や情報提供などを行う。	親子の交流と仲間作り支援	利用人数 ボランティア登録数 ホームページアクセス数	親子遊びひろば利用者数22,950人	親子遊びひろば利用者数25,220人		○	【齋藤委員】 とても良い広場だと思いますが、市内の中心のあるともっと利用者が利用しやすくなると思います。ボランティア登録数は？ 【高橋亜美委員】 評価方法に合った実績報告をしてください。 【三橋委員】 評価方法にある、ボランティア登録数やHPのアクセス数は？ また、利用者の満足度や部局の評価・今後の方針などを確認すべき。 【文委員】② いっそうの推進をお願いします。	<ボランティア登録数について> 一ボランティア登録数62人、活動延べ人数469人、中学生職場体験18人、高校生奉仕体験活動36人  <ホームページアクセス数について> 一現在、調査中
2	児童館事業	児童青少年課	子ども保護者	中・高校生ボランティアの育成、子育て支援グループの活動支援、施設整備、開館時間の延長など。子どもの意見を取り入れながら、新たな児童館設置を行う。また、中・高校生世代の子どもの利用を推進していく。	新設については財政状況を踏まえ運営方法等を含め今後の検討課題	来館者数	東児童館を除く3館において、平成20年4月7日～7月18日、平成20年9月1日～9月29日、平成21年3月2日～3月23日に開館時間を午後5時30分までとした(土曜日は現行とあり)。104日(貫井南は94日)3館計4,484人参加 東児童館については、常時午後6時まで開館。282日、4,207人	東児童館を除く3館において、平成22年4月6日～7月16日、平成22年9月1日～9月29日、平成23年3月1日～3月24日に開館時間を午後5時30分までとした(土曜日は現行とあり)。99日(本町)、93日(貫井南、緑児童館)、3館計5,361人参加 東児童館については、常時午後6時まで開館。281日、5,154人		○	【齋藤委員】 児童館での子育て支援活動として緑児童館のように毎日乳幼児が自由来館できる場があると良いと思います。 【三橋委員】 新設の方向性は？ 事業自体は非常に重要なので、しっかりと続けてほしい。 【文委員】② いっそうの推進をお願いします。	
3	移動児童館(わんぱく号)	児童青少年課	子ども保護者	児童館に遠い地域の子どもへの支援活動として、ボランティアグループの協力により実施する。	継続	参加人数	7月、8月、10月を除く毎月第3土曜日くら山にて活動(9回758人)	7月、8月、10月を除く毎月第3土曜日くら山にて活動(8回476人。3月は震災のため中止)		○	【三井委員】 市内の北西側に児童館がなくそちら方面でも実施したほうがよい 【三橋委員】 利用人数が若干減っているようだが、非常に良い事業だと思うので、しっかりと続けてほしい。課題や利用者の声もきちんと把握して下さい。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
4	小学校の校庭開放事業	生涯学習課	子ども保護者	「遊び場開放」は子ども保護者を対象に、各校に指導員1名を配置し、遊び場として開放。「登録団体開放」は教育委員会に登録申請し、承認を受けた少年スポーツ団体に開放する。	継続	参加人数 (登録団体開放・遊び場開放)	夏休みを除く毎月土、日、祝祭日、年末・年始の6日間を除く冬休み及び春休み。午前午後をスポーツ団体に開放。ただし午後はスポーツ団体と遊び場の併用。 遊び場開放開催回数延べ507回、参加者数延べ9,910人。登録団体開放延べ799回、参加者数延べ6,982人。登録団体開放延べ809回、参加者数延べ73,067人。9校にて開放実施。	夏休みを除く毎月土、日、祝祭日、年末・年始の6日間を除く冬休み及び春休み。午前午後をスポーツ団体に開放。ただし午後はスポーツ団体と遊び場の併用。 遊び場開放開催回数延べ516回、参加者数延べ6,982人。登録団体開放延べ809回、参加者数延べ73,067人。9校にて開放実施。		○	【齋藤委員】 外遊びをする場として貴重な場所であると思いますが時間的またスポーツ団体との関係で余り生かされていないのではないかと思います。 【佐野委員】 午後遊び場と団体併用とあるが、実際には遊び場が使える配慮はなされているのか？野球などやっていると遊び場として使うのは難しい気がする。午前と午後で明確に使用方法に差があるのか？ 【三井委員】 毎年決まった団体が年間スケジュールを押さえて、他の団体が利用する余地がないように受け止める。 【三橋委員】 午後に解放されているのが市民に広く理解されているか？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<午後の遊び場と利用に対する配慮について> 一午後のスポーツ団体と遊び場併用については、遊び場利用者数によって校庭を半分ずつ使用することにより、安全管理及び遊びの指導を行う校庭開放指導員を配置し、利用者の安全に配慮しながら実施している。
5	公園等遊べる施設の整備等	環境政策課	市民	子どもからお年よりまでの憩いの場・交流の場、青少年が安心して遊べる魅力ある場(プレイパークなど)の環境づくり、地域のコミュニティ活動の活発化、子どもの健全育成などを行う。	環境政策課 継続	環境政策課	環境政策課/公園等の維持管理	環境政策課/公園等の維持管理を行うとともに、梶野公園の整備、開園をした		○	【齋藤委員】 梶野公園は本当に子どもの遊び場になっているのでしょうか 【三橋委員】 住みやすさや緑被率等を改善させるためにも、さらなる公園の整備を 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
		児童青少年課 その他関係各課			児童青少年課 継続	児童青少年課	児童青少年課/子どもの健全育成活動	児童青少年課/子どもの健全育成活動		○	【三橋委員】 内容が不明。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
6	保育所・学童保育所等施設の開放	保育課	子どもと保護者、子育てグループ	公立保育所での日曜日園庭開放、学童保育所での施設開放(午前中)、民間保育所への施設開放の働きかけを行う。	保育課/検討(日曜以外は継続)	保育課/利用者数	保育課/日曜日園庭開放は未実施(日曜以外各園により曜日、回数等は異なるが実施している。)	保育課/日曜日園庭開放は未実施(日曜以外各園により曜日、回数等は異なるが実施している。)		○	【高橋亜美委員】 平成20年度より日曜日の園庭開放は未実施。未実施の理由を明確にしてほしい。人材や予算等の問題であればボランティア等を活用してはどうだろう。日曜以外の実施が記載されているが、日曜・祝日の実施こそが必要とされているので他曜日に実施されてもあまり意味はないように思います。 【三井委員】 日曜日開放のニーズはよく耳にする。 【三橋委員】 公立保育所の日曜日の園庭開放の未実施や学童の施設開放の状況について確認したい。 評価方法には利用者数となっているが実績は？ 【三橋委員】② 園庭解放にあたっては、職員体制の問題をクリアしたうえで、日曜保育も含めた検討をお願いします。	<日曜日の園庭開放未実施について> →現状、職員体制が整わないため未実施となっているが、検討を引き続き行っていく。民間保育所も同様であると認識している。  <利用者数について> →公立保育所の園庭開放日程は、各保育所によってことなるが、利用者は概ね1日10名程度となっている。
7	子どもを見守る家	指導室	市民	登下校時への不審者に対する一時的緊急避難所としての「子どもを見守る家(カンガルーのポケット)」の設置を支援する。	継続	登録者数	登録者数1,202件 健全育成推進協議会での情報交換	登録者数1,253件 健全育成推進協議会での情報交換		○	【齋藤委員】 子どもを見守る家の設置は地域安全課に移行すべきだと思います。 【高橋亜美委員】 健全育成推進協議会は年何回の実施ですか？ 【三橋委員】 具体的な利用状況等は？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<健全育成推進協議会の実施回数について> →一年4回開催している。  <具体的な利用件数について> →利用件数は0件
8	放課後子どもプラン	生涯学習課	子ども	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより子どもが地域社会の中で、心ゆたかに健やかに育まれる環境づくりを推進する。	充実する方向で検討	参加人数 実施回数	平成19年度から「放課後子ども教室推進事業」として実施。9小学校区、38事業、参加者26,495人	平成19年度から「放課後子ども教室推進事業」として実施。9小学校区、39事業、参加者26,910人、実施回数648回		○	【齋藤委員】 学校によって実行委員会のあり方が異なり、ボランティアの負担が多くなっているところがあると思います。 【佐野委員】 地域の方々の参画とあるが、実施主体が既成のスポーツ教室となっている事業がある。初期段階は実施者が既成の団体でも良いが定着してきたので、今後市民に限っても良いのではないかと？ 【三井委員】 23区内では毎日のように実施しているところもある。小学4年生以上の放課後の居場所を考える上で実施回数等の拡充は必要。 【三橋委員】 今後の子ども施策の柱となるもの。学童や地域活動との関係などについても、色々良いところ、課題の話も聞くので、もう少し実態を確認したい。 【文委員】② 学区をこえて実施されている「プレイパーク」のような試みについても、なおいっそうの充実に向けた支援をお願いしたい。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

1 子育て家庭を支えます

(3) 子どもを生み育てる家庭を支えます

① 経済的負担を軽減します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	母子援助事業	健康課	乳幼児または妊産婦	経済的理由などにより妊産婦および乳幼児の健康保持が困難な場合①「母子栄養強化扶助」②「妊産婦・乳幼児保健指導」を行う。	①継続 ②継続	支給人数等	①支給実人数6人 ②指導票発行延数21件 支給実人数9人	①支給実人数5人 ②指導票発行延数3件 支給実人数3人		○	【佐野委員】 父子はどうなっているのですか？ 【三橋委員】 受給人数がそのまま評価になるかは疑問であるが、制度を知らずに苦勞をされている方が無いように、事業の市民や対象となる人への周知をしっかりと行い、より利用しやすいものにしてほしい。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<父子世帯について> 一①について、乳幼児の栄養強化については、医師の判断が必要と認められれば該当する。 一②について、乳幼児の保健指導であれば認められる。
2	乳幼児医療費助成	子育て支援課	就学前の乳幼児	乳幼児の健やかな成長と保護者の経済的負担の軽減を図るため、乳幼児医療費の助成を行う。	拡大 平成19年10月1日より未就学児の保護者の所得制限を撤廃し、制度を拡大	受給者数	受給者数と診療件数 都基準分4,265人76,551件 市単独分1,516人26,124件	受給者数と診療件数 都基準分4,786人84,570件 市単独分1,259人26,240件		○	【三橋委員】 計画対象年度である22年度から26年度の期間も制度的に拡充されているのか？ 【文委員】② 施策の充実をお願いします。	<制度の拡充について> 一平成22年度以降も拡大実施を継続していく予定。
3	児童手当	子育て支援課	0歳～小学校修了前の子どもを育てている保護者	0歳から小学校修了前の児童を養育している保護者に対し、手当を支給する。	拡大 平成18年4月1日より小学校修了前の児童を養育している保護者に対し、手当の支給を拡大。 平成19年4月1日より、児童手当支給額を3歳未満一律10,000円に制度改正	受給者数	受給者数6,275人	平成22年度から子ども手当へ移行 対象:0歳～中学校修了前の子どもを育てている保護者 事業の内容:0歳～中学校修了前の子どもを養育している保護者に対し、手当を支給する 目標値・実績内容:未定 評価の方法:受給者数 平成22年度事業実績:受給者数8,510人		○	【三橋委員】 市の事業ではないが、評価方法は適切か 【文委員】② 施策の充実をお願いします。	<評価方法について> 一数値化できる指標が受給者数のみであるため、受給者数を評価方法としたもの。
4	小金井市児童扶養手当	子育て支援課	18歳未満の子どもを4人以上育てている保護者	児童(18歳未満)を4人以上養育している保護者で、4人目の児童から児童手当・児童育成手当が支給できない人に手当を支給する。	継続	受給者数	13世帯19人	11世帯15人		○	【佐野委員】 対象者が何人か把握できているのか？ 【三橋委員】 制度を知らずに苦勞をされている方が無いように、事業の市民や対象となる人への周知をしっかりと行い、より利用しやすいものにしてほしい。 【文委員】② 受給資格者の人数把握に努め、すべてが受給資格者が申請できる態勢を早急につくり、今後とも継続的に進めて下さい。	<対象者の把握について> 一対象者の把握が困難であり、出来ていないが、申請動向のため、市報・HPで制度の案内を掲載している。
5	愛育手当	子育て支援課	4歳、5歳の子どもを保護者	市内に住み、保育園(無認可を除く)や幼稚園に入園していない子ども(4歳、5歳)を育てている保護者に手当を支給する。	継続	受給者数	31世帯32人	32世帯32人		○	【佐野委員】 対象者が何人か把握できているのか？ 【高橋亜美委員】 小金井市独自の手当として実施されている取り組みで、多様化する子育て家庭に配慮している手当てだと思います 【三橋委員】 制度を知らずに苦勞をされている方が無いように、事業の市民や対象となる人への周知をしっかりと行い、より利用しやすいものにしてほしい。 【文委員】② 受給資格者の人数把握に努め、すべてが受給資格者が申請できる態勢を早急につくり、今後とも継続的に進めて下さい。	<対象者の把握について> 一対象者の把握が困難であり、出来ていないが、申請動向のため、市報・HPで制度の案内を掲載している。

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
6	私立幼稚園等保護者助成	学務課	私立幼稚園へ通う子どもの保護者	私立幼稚園等に在籍する子どもの保護者の負担軽減を図るため、助成を行う。また、市の補助金の引き上げを検討する。	継続	申請者数	18,693人/月	16,873人/月		○	【三橋委員】 国の制度改正の動きも踏まえ、今後の方向性について確認したい。  【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
7	就園奨励費の補助事業	学務課	私立幼稚園	公私立幼稚園間の保護者負担金の格差の是正等のために、私立幼稚園に対して入園料・保育料の減免事業(所得制限があり)を行う。	継続	申請者数	704人/年	729人/年		○	【三橋委員】 市内に公立幼稚園は無いと思うが、もう少し実態を確認したい。  【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
8	保育室等保護者助成	保育課	3歳以下の子どもの保護者	市内に住み、認証保育所、認定子ども園、保育室や保育ママに3歳以下の子どもを預けている保護者に助成金を交付する。	継続	保育室、保育ママ、認証保育所、認定子ども園の保育料負担軽減状況	交付件数 認証保育所948件 保育室493件 家庭福祉員142件 合計1,581件	交付件数 認証保育所1,280件 保育室510件 家庭福祉員229件 認定子ども園8件 合計2,027件		○	【齋藤委員】 認可保育所の保育料とだいぶ異なるので、もう少し助成金を増やすことができないのでしょうか。  【三橋委員】 引き続き認可保育所とのイコールフットingの観点から、継続・改善を欲しい。そもそも件数が増えることが良いことというわけでは無いため、評価方法の負担軽減状況という意味を具体的に定義して欲しい。何より、預けたいところにあずけられる制度が必要。  【三橋委員】② 実際の負担軽減状況(額)は？他市の状況と比較しながら助成額などをしっかりと検討してください。(また、保育ママについては、しっかりと研修体制を確立し、助成金を交付して下さい)  【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
9	保育料減免制度	保育課	生活に困難が生じた家庭など	失業や離婚、災害、医療費の増大などで生活に困難が生じたり、保育室などに兄弟が入園している家庭へ、一定の基準により保育料を減免する。	継続	利用者数	289件	393件		○	【三橋委員】 利用者数でどのように評価するのか？増えれば良いというものではない。一方で、事業としては非常に大事な内容のため、引き続き継続・改善を欲しい。  【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
10	小金井市修学援助(奨学金)	庶務課	高校生、大学生など	経済的理由により修学が困難な高校生・大学生などに、修学上必要な学資金を援助する。	継続(奨学金運営委員会にて順次見直し)	受給者数 受給率	高校生35人 大学生3人 対しての支給	受給者数:高校生等35人・大学生等3人 受給率:高校生等68.6%(51人の応募に対し35人に支給)大学生等17.6%(17人の応募に対し3人に支給)		○	【三井委員】 申込み数に対しての支給数が大学生等は20%を切っているが、これは申込み者数が想定以上あるのか、支給条件が厳しいのか精査が必要。  【三橋委員】 支給人数等は適当か？受給人数がそのまま評価になるかは疑問であるが、制度をさらに苦勞をされている方が無いように、事業の市民や対象となる人への周知をしっかりと行い、より利用しやすいものにしてほしい。  【文委員】 大学生等の応募に対して支給率が少ない理由を教えてください。  【文委員】② 大学生等の応募定員の増大を求めます。	<大学生等の支給率について> 一奨学金には募集定員があり、高校生35人、大学生等3人となっている。大学生等について、募集定員に対し応募数が多いため、支給率が低くなっている。なお、受給者は成績、経済状況、特殊要因を指数化し、得点上位者から順に決定している。
11	義務教育就学猶予免除者等教育助成	学務課	子どもと保護者	就学義務を猶予または免除されている子どもと、訪問教育を受けている子どもの保護者に教育助成金を支給する。	継続	申請者数	対象者なし	対象者なし		○	【三橋委員】 受給人数がそのまま評価になるかは疑問であるが、制度をさらに苦勞をされている方が無いように、事業の市民や対象となる人への周知をしっかりと行い、より利用しやすいものにしてほしい  【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
12	要保護及び準要保護児童生徒就学援助	学務課	児童・生徒の保護者	経済的な理由で就学困難な子どもの保護者に対し、学用品費などを援助し、就学支援を行う。	継続	受給者数	要保護48人 準要保護726人	要保護63人 準要保護833人		○	【高橋亜美委員】 ①申請者何人に対するの認定数でしょうか？②小金井市の就学援助率は10%未満、東京都の平均就学援助受給率は21%③単に対象世帯が低いのか認知度や広報の仕方に問題がないのか検討する必要がありますか？④子どもの貧困率は7人に1人といわれていますが、貧困世帯の現状は可視化しづらくあります。権利として受けるべき援助を円滑に活用されるため、利用しやすい制度として認知されることが必要だと思います。④都内の他区市町村では認知のための様々な取り組みがなされています。就学援助に対する小金井の取り組みはかなり遅れていると感じます。 【三橋委員】 受給人数がそのまま評価になるかは疑問であるが、制度を知らずに苦勞をされている方が無いうように、事業の市民や対象となる人への周知をしっかりと行い、より利用しやすいものにしてほしい。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<申請者と認定数について> 一小学生の認定率82%、中学生に認定率84%。学校説明会、全児童へのチラシ配布、HPや市報に掲載し、全家庭への周知を行っている。
13	ひとり親家庭医療費	子育て支援課	ひとり親家庭など	18歳に達した年度の末日(障害のある場合は20歳未満)までの児童のいる家庭などに対して、医療費の自己負担すべき額から一部負担金を控除した額を助成する。	継続	件数	9,894件	8,870件		○	【三橋委員】 これは、申請を前提にしているのか。それとも市の方が対象者を把握して通知しているのか？受給人数がそのまま評価になるかは疑問であるが、制度を知らずに苦勞をされている方が無いうように、事業の市民や対象となる人への周知をしっかりと行い、より利用しやすいものにしてほしい。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<対象者への案内通知方法について> 一本制度は、受給者の申請に基づき助成する制度となっている。市報、HPで制度の広報を行う他、関係各課の届出時に案内をする等、関係各課と連携し周知を行っている。
14	障害児福祉手当(国制度)	障害福祉課	重度の障害のある20歳未満の子ども	障害のある児童がいる世帯の経済的負担を軽減するために、障害児福祉手当の支給を行う。	充実	受給率 支給額	受給資格者34人 受給者30人 受給率88.2% 5,392,500円	受給資格者44人 受給者36人 受給率81.8% 6,528,520円		○	【三橋委員】 これは、申請を前提にしているのか。それとも市の方が対象者を把握して通知しているのか？受給人数がそのまま評価になるかは疑問であるが、制度を知らずに苦勞をされている方が無いうように、事業の市民や対象となる人への周知をしっかりと行い、より利用しやすいものにしてほしい。 【文委員】② いっそうの支援をお願いします。	<対象者への案内通知方法について> 一本制度は、受給者の申請に基づき給付する制度となっている。市報、HPでの制度の広報を行う他、手帳交付時の案内や窓口での対応時に案内している。
15	心身障害者福祉手当	障害福祉課	児童育成手当(障害)非該当の子ども の保護者	心身に障害のある児童の保護者に手当を支給する。	充実	受給率 支給額	受給者7人 受給率100% 950,000円	受給者6人 受給率100% 921,500円		○	【三橋委員】 これは、申請を前提にしているのか。それとも市の方が対象者を把握して通知しているのか？受給人数がそのまま評価になるかは疑問であるが、制度を知らずに苦勞をされている方が無いうように、事業の市民や対象となる人への周知をしっかりと行い、より利用しやすいものにしてほしい。 【文委員】② いっそうの支援をお願いします。	
16	特別児童扶養手当(国制度)	障害福祉課	20歳未満の子ども の保護者	障害のある児童がいる保護者(所得制限あり)に、経済的負担の軽減を図るため手当を支給する。	継続	受給率	受給資格者79人 受給者54人 受給率68.4%	受給資格者102人 受給者78人 受給率76.5%		○	【三橋委員】② (この質問も基本的なこと理解に関することで恐縮ですが)なぜそもそも受給率が100%にならないのでしょうか？ 【文委員】② いっそうの支援をお願いします。	
17	義務教育就学児医療費助成	子育て支援課	義務教育就学児	児童の健やかな成長と保護者の経済的負担の軽減を図るため、義務教育就学児に係る医療費の助成を行う。	拡大 平成19年10月1日より保険診療自己負担分3割のうち1割を助成。 平成21年10月1日より3割助成(ただし、通院1回につき200円(上限額)の自己負担あり)。	受給者数	受診件数33,669件	受給者数と診療件数 都基準分4,066人47,960件		○	【三橋委員】② 制度の詳細がよく分かりません。まずこれは小中学生を対象とした都の事業という理解でよいのでしょうか？。21年より3割助成となったようですが5割近く増加しているのはなぜでしょうか？ 【文委員】② いっそうの支援をお願いします。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

② 母子保健体制を充実します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	妊産婦の健康づくり事業	健康課	妊娠の届け出をした妊婦	妊娠届出書を提出した妊婦に母子健康手帳を交付し、妊娠中から母子の健康保持を図る。同時に、母子の保健バッグも配布し、保健衛生事業の情報提供を行う。妊婦の健康管理と流産の防止などのための妊婦健診、妊婦歯科健診、妊産婦訪問指導、産後の健康管理などのため産婦健診を行う。	継続 妊婦健康診査公費負担回数 平成19年度2回 平成20年度5回 平成21年度14回	妊婦健康診査受診票受理数 妊婦健康診査公費負担回数 平成19年度2回 平成20年度5回 平成21年度14回	妊婦健康診査受診票受理数: 1回目936人、2回目以降3,727人 産婦健康診査受診者数866人 妊産婦訪問実施延人数79人 妊婦届出数1,010件 母子健康手帳交付延数1,055件 償還払い交付延数:41件	妊婦健康診査受診票受理数: 1回目988人、2回目以降10,926件 産婦健康診査受診者数920人 妊産婦訪問実施延人数835件 妊婦届出数1,055件 母子健康手帳交付延数1,077件 償還払い交付延数:250件		○	【高橋亜美委員】 ①妊産婦訪問実施数の実数は何人ですか?②平成に20年の妊産婦訪問実施延人数79人から平成22年には835件と約10倍になっていますが訪問実施数が急増した理由は?③妊産婦訪問は産付ハイリスク家庭(シングルマザー、親が障害を抱えている、貧困等)を認知する取り組みともなるので是非力をいれて今後も実施していただきたい  【三橋委員】② 22年度以降の目標値をしっかりと示してください。(公費負担は都の施策でしょうか?) 【文委員】② 体制のいっそうの充実をお願いします。	<妊産婦訪問の実数について> →実数は、妊婦1名、産婦747人、増加理由は、従前は健康課でのみ受付を行っていた「赤ちゃん連絡票」を、子育て支援課で記入・提出できるようになったため。  <妊産婦訪問実施延人数について> →平成20年度までは、ハイリスク妊産婦に対して訪問を実施していたが、平成21年度の乳児家庭全戸訪問事業の実施に際して、訪問対象が全産婦に拡大されたことに伴い、実施延人数が増加した。
2	新生児訪問指導(乳児家庭全戸訪問事業)	健康課	新生児と保護者	育児などに対する不安の軽減や、疾病の予防、健康の保持・増進を図るため、専門の知識を持った助産師・保健師による家庭訪問を行う。平成21年度から乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)を実施し、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービスに結びつける等の拡大をはかるため、訪問期間を生後120日まで延長する。	充実	訪問率	新生児訪問指導実施延人数 395人 未熟児訪問指導実施延人数 39人	新生児訪問指導実施延人数 861人 未熟児訪問指導実施延人数 70人		○	【齋藤委員】 こんにちは赤ちゃん事業が100パーセントになってほしいと思います。 【高橋亜美委員】 平成20年の実施延べ人数から平成22年には実施数は倍増しており、取り組みの充実が伺える。上記に述べたように訪問支援は児童虐待の早期発見にも繋がるので今後も更に充実した取り組みを行ってほしい。  【三橋委員】② 大事な事業だと思えます。訪問率をしっかりと示してください。 【文委員】② 体制のいっそうの充実をお願いします。	
3	乳幼児健康診査 ①3~4か月児健康診査 ②6~7か月児健康診査 ③9~10か月児健康診査 ④1歳6か月児健康診査 ⑤3歳児健康診査	健康課	3か月児~3歳児と保護者	乳幼児の健康状態の確認、病気の早期発見、乳幼児の心身の健やかな成長と保護者の育児支援を図るため、健康診査(身体計測・医師の診察・相談等)を行う。また、必要に応じて経過観察健診などを行う。	継続	受診率	①④⑤:毎月各2回集団健診 ②③:個別健診 対象者数・受診者数・受診率 ①933人・875人・93.8% ④833人・784人・94.1% ⑤803人・738人・91.9% 対象者数・受診票受理数・受診率 ②933人・799人・85.6% ③933人・764人・81.8%	①④⑤:毎月各2回集団健診 ②③:個別健診 対象者数・受診者数・受診率 ①1,012人・958人・94.7% ④949人・895人・94.3% ⑤855人・786人・91.9% 対象者数・受診票受理数・受診率 ②1,012人・878人・86.8% ③1,012人・846人・83.6%		○	【三橋委員】② 受診率100%となるように、頑張ってください。親は意外に仕事などで健康診査に行けないケースなどあり、個別のフォロー等が必要(有効)かと思えます。 【文委員】② 体制のいっそうの充実をお願いします。	
4	乳幼児歯科保健指導	健康課	乳幼児と保護者	乳幼児のむし歯予防や、からだ全体の健康づくりの一環として、歯科保健指導、フッ化物の塗布などを行う。	継続	むし歯のない者の割合	①むし歯予防教室:39回、241人実施 ②歯科健診診査:40回、1,005人実施 ③歯科予防処置:70回、729人実施 3歳児健診時むし歯のない児の割合=85.5%	①むし歯予防教室:40回、252人実施 ②歯科健診診査:40回、909人実施 ③歯科予防処置:70回、106人実施 3歳児健診時むし歯のない児の割合=88.2%		○	【三橋委員】② 90%の目標をまずは確実に達成してください。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
5	両親学級	健康課	妊婦とパートナー、乳幼児と保護者	妊娠、出産、育児などに関し、必要な知識の普及や情報の提供、さらに親同士の交流や仲間づくりなど支援を行うため、妊婦とそのパートナーを対象とした教室・乳幼児と保護者を対象とした教室を開催する。	健康課/継続	健康課/参加人数	健康課/母性科 平日4日コース:6回、受講者延人数431人 土曜2日コース:4回、受講者延人数410人	健康課/母性科 平日4日コース:6回、受講者延人数285人 土曜2日コース:4回、受講者延人数413人		○	【三橋委員】② 平日の参加人数が減っているが評価は? 【文委員】② 教室開催の充実とともに、コミュニティサイトの開設を希望します。	
	子育て支援課				子育て支援課/継続	子育て支援課/参加人数	子育て支援課/育児科 エンジェル教室(2日コース):年12回、受講者延人数462人 カルガモ教室:年12回、受講者延人数137人	子育て支援課/育児科 エンジェル教室(2日コース):年12回、受講者延人数483人 カルガモ教室(3日コース):年4回、受講者延人数142人		○	【文委員】② 教室開催の充実とともに、コミュニティサイトの開設を希望します。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
6	母子保健健康相談事業 ①乳幼児保健相談 ②乳幼児健康相談 ③出張健康相談	健康課	乳幼児と保護者	育児不安の解消を図るため、保健師等に気軽に相談できる場を確保し、育児支援を行う。	継続	利用者数	①貫井南センター:年10回、利用延数142件 東センター:年12回、利用延数338件 ②保健センター:94回実施、利用延数609件 ③婦人会館:9回実施、利用延数124件 福祉会館:11回実施、利用延数139件	①貫井南センター:年12回、利用延数197件 東センター:年12回、利用延数289件 ②保健センター:92回実施、利用延数486件 ③婦人会館:9回実施、利用延数276件 福祉会館:11回実施、利用延数285件		○	【三橋委員】② 利用延数は場所によりまちまちだが、その背景・評価は？ 【文委員】② 相談体制の充実のみならず、コミュニティサイトの開設を希望します。	
7	予防接種事業	健康課	子どもと保護者	各種予防接種に関する正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、感染性の病気の発生やまん延を防ぐため、BCG、三種混合、二種混合、麻しん、風しん、ポリオなどの予防接種を行う。	継続	接種率	接種人数・接種率/ 三種混合:3,552人 97.8% 二種混合:680人 72.5% 麻しん風しん (第Ⅰ期)776人 93.2% (第Ⅱ期)811人 88.2% (第Ⅲ期)768人 84.6% (第Ⅳ期)697人 74.1% 日本脳炎:209人 6.2% ポリオ:1,309人 70.2% BCG:880人 94.3%	接種人数・接種率/ 三種混合:3,752人 97.3% 二種混合:719人 71.4% 麻しん風しん (第Ⅰ期)894人 94.9% (第Ⅱ期)727人 88.7% (第Ⅲ期)828人 82.9% (第Ⅳ期)738人 76.7% 日本脳炎:3,016人 87.8% ポリオ:1,850人 95.2% BCG:949人 97.7%		○	【三橋委員】② この施策は接種率が評価指標となっていますが、100%を目指すべきものなのでしょうか？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
8	栄養個別相談・栄養集団指導	健康課	子どもと保護者	離乳食やアレルギー食、食生活等の子どもの成長に関する食の悩みについて、栄養士との相談の場を提供する。また、食に興味を持ち、つくる楽しさ、食べる楽しさを意識してもらうため、親子で作れる料理の紹介をする。	継続	個別相談:利用者数	栄養個別相談利用者延数:736人 栄養集団指導参加者延数:1,854人 (健診時の個別相談・集団指導等含む)	栄養個別相談利用者延数:690人 栄養集団指導参加者延数:2,441人 (健診時の個別相談・集団指導等含む)		○	【三橋委員】② 個別相談利用者数は若干減っていますが、その背景・評価は？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
9	小児医療の充実	健康課	子どもと保護者	小児救急医療を確保し、充実を図る。将来は休日診療センターの設置や、平日の準夜診療の体制確立を関係機関と協議検討する。	継続		小金井市民の武蔵野赤十字病院小児科受診患者延数1,633人	小金井市民の武蔵野赤十字病院小児科受診患者延数1,582人		○	【齋藤委員】 一日も早く市内での救急診療の充実を望みます。 【三橋委員】② 小金井は休日診療については、医療機関との連携がしっかりととられていると思いますが、休日診療センターの設置や準夜診療についての検討はどのようになっていますか？ 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
10	子育て中の保護者グループ相談	子育て支援課	子どもと保護者	育児に強い不安や困難を感じている保護者を対象に、子育てや自分についての思いを話したり、必要な情報や支援を見つける場を関係機関と連携し、提供する。また、育児に関する日ごろの悩み相談や市内情報の交換を必要とする保護者の継続支援を行う。	推進	開催回数 参加人数	母親グループひだまり:年12回 参加者48名 母親グループ:年12回 参加者63人	育児不安親支援事業ひだまり:年12回、参加者44名 お母さんグループ:年12回、参加者68名		○	【高橋亜美委員】 孤立した子育てにならないよう、母同士の繋がり支え合いがもてるグループ活動が更に推進されるとよいと思います。 【文委員】 「母親グループひだまり」のグループ概要を教えてください。 【三橋委員】② 参加人数も大事ですが、それ以上に内容が大事かと思えます。1人でも悩みが大きい母親等がいれば、個別対応との連携をとるなどの対応をお願いします。 【文委員】② 様々な育児支援グループの支援充実を求めます。コミュニティサイトの開設を希望します。	<育児不安親支援事業ひだまりの概要について> →育児不安や育児困難を抱えている親を対象に、家族や自身の悩みや体験等をグループミーティング形式のグループワークの中で否定されることなく率直に話し合う講座、月1回、子ども家庭支援センターでの相談等の中で育児不安や困難がある親に個別に声を掛け参加者を募る。定員10組  <お母さんグループ概要について> →実施体制はひだまりと同様、対象者は子育てに悩んでいる母親を対象としている。
11	育児に困難を持つ家庭への支援	健康課	子どもと保護者	未熟児、多胎児、病児を持つ子どもと保護者が、よりよい情報や手段が得られることで、育児の困難さを軽減できるように、家庭訪問などの継続的な個別相談や、親子同士が交流できる場を提供する。	継続		未熟児(病児を含む)、多胎児に対する新生児訪問実数28件 個別継続支援実施延べ数132件 多胎児の自主グループに対する支援「まなびあい講座」年2回	未熟児(病児を含む)、多胎児に対する新生児訪問実数70件 個別継続支援実施延べ数192件 多胎児の自主グループに対する支援「まなびあい講座」年2回		○	【高橋亜美委員】 訪問支援、個別継続支援共に支援件数が増加していて取り組みの充実が伺えます 【三橋委員】② どのように対象者を把握し、支援・交流に参加するきっかけを作っているのでしょうか？ 【文委員】② 様々な育児支援グループの支援充実を求めます。コミュニティサイトの開設を希望します。	

「のびくこどもプラン 小金井」（小金井市次世代育成支援後期行動計画）事業進捗状況

③ 子育てや子育てに関する相談、情報提供、学習機会を充実させ、支援を強めます

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	子育て情報の提供	子育て支援課	保護者	市報やホームページを活用した子育て情報の提供を行う。	継続	掲載回数	子育て支援情報として、ホームページに一時保育、子どもショートステイ、育児支援ヘルパー、子ども家庭支援センターで行う育児講座・教室などを随時掲載。また、市報へも適宜掲載	子育て支援情報として、ホームページに各種手当、医療費助成、一時保育、子どもショートステイ、育児支援ヘルパー、子ども家庭支援センターで行う育児講座・教室などを随時掲載。また、市報へも適宜掲載		○	【三橋委員】② 評価方法の掲載回数にはどのようになっていますか？あるいは、情報の受け手から見て、改善が見られているかどうかをしっかりと検証して頂いた方がよいかと思えます。 【文委員】② 充実した取り組みを望みます。	
2	子育て情報誌の発行	子育て支援課	保護者	子育てサークルや保育所、幼稚園などの施設情報、子育て支援の情報などを掲載した冊子を発行する。	継続。在庫の状況を把握し、増刷、改訂の作業を行う。	情報誌の配布状況利用者の声	平成20年12月にのびのびがねいっ子改訂版を10,000部作成、引き続き子ども家庭支援センター等で配布	平成20年12月にのびのびがねいっ子改訂版を10,000部作成、引き続き子ども家庭支援センター等で配布		○	【池田委員】 平成20・22年度と同じ物を配布しているが、現状と合っているのか。 【齋藤委員】 残部数は？改訂版の作成も必要では 【三橋委員】② のびのびがねいっ子は非常にいい内容に仕上がっていると思います。ただ、実際に利用者へ届いているかという点で、配布方法を改善したり、評価方法にある利用者の声をしっかりと確認してください。 【文委員】② 充実した取り組みを望みます。	<のびのびがねいっ子の内容、部数について> →現在配布しているものは、平成20年度に作成しているものであるが、内容にずれがあるものは、訂正用紙を挟み込み配布している。残部数は平成23年12月時点で約1,500部、今後の改訂、増刷は検討中である。
3	子育てひろば事業	保育課	子ども保護者	保育所での電話相談や園庭開放、園行事への参加など。また、児童館を利用し、ボランティアによる保育サポートや、子育て相談員を配置した子育てひろば事業を行う。	保育課／継続	保育課／相談件数	保育課／相談件数86件 園庭開放は週1、2回程度実施	保育課／相談件数141件 園庭開放は週1、2回程度実施		○	【齋藤委員】 園庭開放はとても良いと思います。 【三橋委員】 この事業は民間保育所でも実施されているのでしょうか？ 【三橋委員】② 良い施策だと思いますので、引き続き継続・拡充に努めて頂ければと思います。件数だけでなく、相談体制の拡充や内容面(利用者の声)による評価も検討ください。 【文委員】② 充実した取り組みを望みます。	<民間保育所の実施状況について> →民間保育所でも全園実施している。
	児童青少年課				児童青少年課／継続	児童青少年課／実施回数	児童青少年課／乳幼児の活動において、ボランティアの協力を得ている。また、軽易な相談について、日常的にひろば事業において、受けている。さらに、月3回専門相談員による相談事業(思春期、子育て、発達相談)を実施	児童青少年課／乳幼児の活動において、ボランティアの協力を得ている。また、軽易な相談について、日常的にひろば事業において、受けている。さらに、月3回専門相談員による相談事業(思春期、子育て、発達相談)を実施		○	【三井委員】 道具等の更改や補充は行われているのか？ 【三橋委員】② 良い施策だと思いますので、引き続き継続・拡充に努めて頂ければと思います。件数だけでなく、相談体制の拡充や内容面(利用者の声)による評価も検討ください。 【文委員】② 充実した取り組みを望みます。	<道具等の更改や補充について> →行っています。
4	子育て総合相談	子育て支援課	子ども保護者	子ども家庭支援センターを窓口とした、子どもや子育てに関する総合相談、情報提供。特別支援教育と連携し、発達障害支援や子育て支援ネットワークづくりにつなげる。	継続・検討	相談件数	20年度の年間相談件数1,375件	相談件数2,207件 市内の子育て家庭を対象に、家族等に話せない悩み事を話せる第三者機関として子ども家庭支援センターを周知するために、カードを作成し配布		○	【三橋委員】② 大事な施策だと思いますので、引き続き周知に努めてください。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	
5	民生委員・児童委員の活動	地域福祉課	子ども保護者、妊婦など	子どもや妊産婦、ひとり親家庭などの総合相談、利用できる制度や施設、サービスの紹介、判断、治療、処遇を必要とする問題については、関係機関との連携を図りながら速やかな対応を行う。	継続	活動件数	民生委員・児童委員及び主任児童委員計74名が地域で活動している 活動件数：623件	民生委員・児童委員及び主任児童委員計68名が地域で活動している 活動件数：333件		○	【齋藤委員】 どのような相談でも受け付けていますが、周知を色々な形で進めています。 【文委員】 子育て支援サービスの窓口を紹介する人物として、かつては重要な役割を持っておられたこれらの人々のウェイトが低下したことが、件数の減少につながっているのでしょうか。またプライバシーの問題もあるのでしょうか。 【三橋委員】② 民生委員と子ども家庭センターの役割の異同点はどのようなものなのでしょうか？ 【文委員】② 相談者のプライバシーの問題や、委員のなり手不足などもあり、子育て支援情報を提供するキーパーソンとしての民生委員・児童委員の役割を見直すべき時期にきていると思う。そのことをテーマにして、利用想定市民も含めた検討会を始めてほしい。	<活動件数の減少について> →委員が受ける相談の中で、1件の相談に関して、1回の対応で終わるケースもあれば10回の対応が必要なケースもあり、その時の対応状況等の関連で減少していると考えている。また、子ども家庭支援センターの役割が市民に認知されてきたため、民生委員を過ぎないで相談するケースも出てきている。

「のびゆくこどもプラン 小金井」（小金井市次世代育成支援後期行動計画）事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
6	施設ボランティアの養成	保育課	市民	保育所や学童保育所、児童館などで、遊びや施設管理を行う市民ボランティアを養成する。	保育課/未定		保育課/未実施	保育課/未実施			【池田委員】 なぜ、未実施なのか。 【齋藤委員】 未実施の理由は？ 【佐野委員】 実施なしで、理由も無いものは不要との判断なのか？ 【高橋亜美委員】 未実施の理由は？ 【三井委員】 内容の詳細が良くわからない。未実施のため確認をしたい。 【三井委員】 保育園、学童保育所は児童館とその性質が異なるが、それぞれ別の目的で養成を実施してもよい。	<未実施の理由について> 一施設との交流等を通じ、ボランティア的な交流を行っているが、事業としては未実施。他の重要課題等が山積しており、いつれ検討を行っていく予定である。
								児童青少年課	児童青少年課/継続			
7	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	市民	育児援助ができる協力会員と、育児支援を受けたい依頼会員を登録し、地域の中で相互に助け合いを行う。	継続	会員数 活動件数	会員数781人 活動件数3,097件	会員数1,026人 活動件数2,400件		○	【齋藤委員】 大事なサービスだと思いますが活動件数が減っているのは？ 【高橋亜美委員】 会員数は増加しているのに、活動件数が697件も減っている理由は？ 【三井委員】 事故が起こった時の責任の所在がはっきりしていないとの声を聞いたことがある。  【三井委員】② 需給バランスを改善させるための検討を早急に実施する必要あり。対応策について検討状況は？不況の中で、父母側も色々と厳しい状況となっており、ファミサポでニーズに対応出来ないのであれば、違った施策で対応することも検討する必要ある。 【文委員】② 協力会員が協力をする上で動きやすい体制づくりに取り組んでほしい。	<活動件数の減少について> 一依頼会員のニーズが多様化してきているなかで、協力会員が引受可能な条件外の依頼等が増えてきているため。

「のびくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
8	思春期相談	健康課	子ども	思春期の子どもからの相談に応じ、関係機関と連携を取りながら支援へつなげていく。	健康課/継続	相談件数	健康課/保健所の思春期相談(月1回)を、市民にとって近い場所でするため保健センターを利用	健康課/保健所の思春期相談(月1回)を、市民にとって近い場所でするため保健センターを利用		○	【齋藤委員】 相談件数は？  【三橋委員】② 件数のみの評価でよいのか？各センターや児童館での対応の仕方は学校のスクールカウンセラーと同じか？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。	<相談件数について> →11件(保健所調べ)
	子育て支援課				子育て支援課/継続	子育て支援課/子ども家庭支援センターの子育て相談で子どもからの相談を受付	子育て支援課/子ども家庭支援センターの子育て相談で子どもからの相談を受付		○	【齋藤委員】 相談件数は？ 【高橋亜美委員】 利用者数・相談件数は？そもそも思春期の子どもが子ども家庭支援センターを利用すると思えない  【三橋委員】② 件数のみの評価でよいのか？各センターや児童館での対応の仕方は学校のスクールカウンセラーと同じか？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。	<相談件数について> →7件	
	児童青少年課				児童青少年課/継続	児童青少年課/東児童館で思春期相談を実施 12回17人利用	児童青少年課/東児童館で思春期相談を実施 12回27人利用		○	【三橋委員】② 件数のみの評価でよいのか？各センターや児童館での対応の仕方は学校のスクールカウンセラーと同じか？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。		
	指導室				指導室/継続	指導室/各中学校にスクールカウンセラーを配置 相談件数 2,752件 教育相談所での相談受付相談件数合計 986件	指導室/各中学校にスクールカウンセラーを配置 相談件数 1,002件 教育相談所での相談受付相談件数合計 150件		○	【高橋亜美委員】 ①相談件数が千件以上も減っている・教育相談所での相談件数も極端に減っている理由は？ 【文委員】 相談件数の減少理由は、平成20年度が、設置初年度だったから特別に多かったのか、ないしは、効果に対して利用者から一定の疑問を持たれるようになったのでしょうか。  【三橋委員】② 研修の結果が、相談件数の減少につながる理由がわからない。 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。	<相談件数減少の理由について> →スクールソーシャルワーカーの配置や教員に対する教育相談研修の結果、スクールカウンセラーへの相談が減少した。	
9	子育ての仲間づくり事業	子育て支援課	就学前の子どもと保護者	孤立化を防ぎ、仲間づくりを促進するため、広場において親子のふれあい、親同士、子ども同士の交流の促進するプログラムを行う。	子育て支援課/継続	子育て支援課/利用人数	子育て支援課/子ども家庭支援センターゆりかご広場事業利用人数22,950人 お楽しみ時間、ゆりかごカフェ等実施	子育て支援課/子ども家庭支援センターゆりかご広場事業利用人数22,950人 お楽しみ時間、ゆりかごカフェ等実施		○	【齋藤委員】 とても良い広場だと思いますが、市内の中心のあるとともっと利用者が利用しやすいと思います。  【三橋委員】② 利用者数は不変だが、その背景・意味するところはどのように考えられていますか？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。	<ゆりかご広場事業利用人数について> →記載されている実績に誤りがありました。正しくは25,220人となります。(※実績を訂正いたします)
	児童青少年課				児童青少年課/継続	児童青少年課/児童館における乳幼児活動(子育てひろば事業、幼児グループ活動等)合計1,089回 35,552人	児童青少年課/児童館における乳幼児活動(子育てひろば事業、幼児グループ活動等)合計1,104回 31,845人		○	【三橋委員】② 参加者数は減っていますが、その背景・意味するところはどのように考えられていますか？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。		

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
10	ショートステイ・トワイライトステイ事業	子育て支援課	2歳～小学校以下の子ども	保護者の病気などで子どもの保育が困難な場合、児童福祉施設に事業委託をし、ショートステイ(短期宿泊保育)やトワイライトステイ(夜10時までの夜間保育)を行う。	ショートステイ/継続 トワイライトステイ/検討	利用人数	ショートステイ 利用者延べ50人 延べ宿泊数132人 トワイライトステイ未実施	ショートステイ 利用者延べ18人 延べ宿泊数103泊 トワイライトステイ未実施、検討継続		○	【齋藤委員】 トワイライトステイをはじめショートステイも市内でできる施設を希望します。 【高橋亜美委員】 トワイライトステイは実施に向けて是非検討してほしい。 【三井委員】 トワイライトの要望はよく聞く。実施に向けて前向きな検討を。 【三橋委員】② ショートステイが出来て、トワイライトステイが未実施となる理由は？ショートステイもニーズは多いと思われるが、人数が減っており、父母への周知はしっかりと行われているのか？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。	
11	育児支援ヘルパー	子育て支援課	産後間もない、家事・育児の支援が必要な家庭	出産又は退院後2か月以内で家事や育児などの支援が必要な家庭に、1日4時間以内、15日間まで育児支援ヘルパー(NPO)に事業を委託を派遣する。	拡大	利用者数	利用件数 44件	育児支援ヘルパー利用(派遣)人数 45人		○	【高橋亜美委員】 とてもよい支援だと思います。生保・非課税所得家庭は無料なので貧困世帯で親等を頼れない方にはとてもありがたい制度だと思います。 【三橋委員】② 家事・育児支援が必要な世帯の定義は所得で分けているのでしょうか？利用者の絶対数が少ないですが、実際は、料金を払っても利用したいという人も多いのでは？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。	
12	子育て講座の開催  児童青少年課	子育て支援課	子どもと保護者、妊婦とパートナー	妊娠、出産、育児などに関する知識の普及や情報提供、親同士の交流や仲間づくりなどを行う。	子育て支援課/継続	子育て支援課/利用人数	子育て支援課/年齢別講座(0歳・1歳):受講者209人、助産師ミニ講座:年6回 受講者37人、父親講座:年3回 受講者50人、フォローアップ講座:年1回 24人受講	子育て支援課/0歳の集まり:参加者130人、1歳児の親のグループワーク:参加者197人、助産師ミニ講座:年3回 参加者17人、父親講座:年3回 参加者25人、フォローアップ講座:年2回 58人受講		○	【三橋委員】 利用人数は増えているものもあれば、減っているものもありますが、その背景・意味するところはどのように考えられていますか？今後の対応方針は？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。	
							児童青少年課/継続	児童青少年課/利用人数	児童青少年課/乳幼児活動(子育てひろば事業)において実施 41回 1,494人	児童青少年課/乳幼児活動(子育てひろば事業)において実施 54回 1,499人	○	【三橋委員】② 利用者人数に対して、その背景・意味するところはどのように考えられていますか？今後の対応方針は？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。
13	思春期子育て講座	生涯学習課	保護者	思春期の子どもを持つ保護者等が、家庭や地域において子どもに適切な支援、助言が行われるよう学習機会の提供を行う。	継続	参加人数	市立小中学校13校で1回ずつ合計13回実施、569人参加	市立小中学校14校で1回ずつ合計14回実施、573人参加		○	【三橋委員】② 利用者人数はほぼ横ばいですが、その評価・今後の対応方針は？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。	
14	家庭教育学級	生涯学習課	保護者・児童生徒・近隣住民	家庭と学校・地域が密接な連携を保ちつつ、児童・生徒のより良い教育環境づくりと人間性豊かな子どもの育成を図るために、保護者と子どもがともに学習するための場を設け、家庭内教育の充実、向上を目指す。	継続	参加人数	市立各小中学校全14校で1回ずつ合計14回実施、2,703人参加	市立各小中学校全14校で1回ずつ合計14回実施、2,871人参加		○	【三橋委員】② 利用者人数は増えていますが、その評価・今後の対応方針は？ 【文委員】② 体制のいっそうの充実と施策の早急な実施を望みます。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

④ 保育サービスを拡充します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	認可保育所での保育事業	保育課	0歳～就学前の子ども	保育を必要とする就学前の子どもの保育。定員枠や保育形態の見直しを検討する。また、保育環境の充実に努める。	推進	利用者数等	13年度より弾力運用で定員を超えて入所している。平成19年度認可保育所1園新設、平成21年度移転に伴い認可保育所30名定員増。 平成22年度に認可保育所を1園新設、1園の定員を30名増員予定	13年度より弾力運用で定員を超えて入所している。平成19年度認可保育所1園新設、平成21年度移転に伴い認可保育所30名定員増 平成22年度に認可保育所を1園新設し定員49名増、1園の定員を30名増員		○	【三井委員】 保育所を増やしても待機児童数は減らない。潜在的待機児はまだ残っていると考える。 【三橋委員】 待機児童解消のため、可能な限り受け入れ枠を増やすことは必要だが、一方で、事業内容にも挙げられている保育環境の充実についての改善・評価についてしっかりと議論をしたい。 【文委員】② 待機児童解消のためにもいっそうの充実を求めます。	
2	夜間保育、休日保育、長時間延長保育	保育課	1歳～就学前の子ども	ファミリーサポート事業や、NPOとの連携を図りながら、延長保育の再延長や夜間保育、日曜日や祝日などの休日の保育事業を検討。	未定(休日保育、長時間保育は平成24年度までに検討)	利用者数	未実施	未実施			【池田委員】 検討は、どの程度進んでいるのか。 【齋藤委員】 未実施の理由は？ 【高橋亜美委員】 未実施の理由を明確にしてください 【三橋委員】 けやき保育園の移転に伴って休日・長期間保育については実施することも検討中と伺っているが、その後の状況及び他園での実施の可能性について改めて確認したい。	<検討状況、未実施理由について> →夜間・休日・着時間延長保育に対する利用者や保育者の意思に乖離があるため、検討するも実施に至らず。今後も引き続き検討を行う。 <けやき保育園移転に伴う休日・長時間延長保育について> →新園舎建設に伴い検討中。
3	病児・病後児保育	保育課	1歳～就学前の子ども	児童が病中又は病後回復期にあり、集団保育が困難な場合、保育所・医療機関などで保育を行う。	体調不良児対応型及び病児・病後児対応型の検討	施設数	民間保育所1園で体調不良児対応型(旧自園型)を実施	民間保育所1園で体調不良児対応型(旧自園型)を実施		○	【高橋亜美委員】 利用者数は？ 【三橋委員】 24年度より1か所2名の病児・病後児保育の実施、けやき保育園移転後に体調不良児型保育を実施する方向で検討されていると聞いており、着実に実施をして欲しい。加えて、何れの施策も場所や人数はニーズに比べてまだまだ不十分であり、父母の要望も大変強い。加えて、更なる拡充をお願いする。 【三橋委員】② 2名と聞いていたが4名になったということが良いか？ 【文委員】② 民間NPOが取り組んでいるような、訪問型のサービスも検討してください。	<利用者数について> →平成22年度利用者数は1、2名程度(体調不良児対応型)、平成24年度より、病後児保育(定員4名)で実施すべく予算計上する。
4	認可保育所での障害児保育	保育課	障害のある子ども	公立保育所および民間保育所の全園で受け入れ可能な障害児の保育を行う。	拡充を検討	利用者数	公立全園、民間5園実施	公立全園実施、民間6園実施		○	【高橋亜美委員】 利用者数は？ 【三橋委員】 年齢、人数の制限について今後改善される予定と伺っている。しっかりと実施いただき、今後の更なる拡充も検討して頂きたい。 【文委員】② いっそうの充実を求めます。	<利用者数について> →公立13人(全園で実施)、民間13人(6園で実施)。定員拡充、年齢制限撤廃検討中。
5	保育所、幼稚園での障害児巡回指導	保育課	障害のある子ども	認可保育所、医師や機能訓練、言語訓練の専門家による巡回相談や指導。幼稚園、民間保育所においても検討する。	拡充		平成21年度から、言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士が公立保育所を巡回	言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士が保育所を巡回		○	【高橋智委員】 巡回指導の回数、利用者数は？ 【三橋委員】 件数や利用者の声等について確認をしたい。 【三橋委員】② 了解いたしました。引き続き継続・拡充をしてください。 【文委員】② いっそうの充実を求めます。	<巡回指導の回数、利用者数について> →公立保育所各園2ヶ月に1回、8時間の実施となっている。保育士向けの巡回指導で、保育士からは、「子どもへの関わり方が明確になる。」との声が上がっている。民間保育所は補助金を支給し、各園の事情に応じて7園で実施している。
6	認証保育所、保育室、家庭福祉員(保育マザー)、認定子ども園	保育課	0歳～就学前の子ども(施設により異なる)	認証保育所や保育室等による保育サービスの充実に努める。また、家庭福祉員の人材確保、複数保育(グループ保育)を検討する。	拡充	利用者数	認証保育所3施設 保育室4施設 家庭福祉員7名 平成21年度に認証保育所を1園新設予定	認証保育所4施設 保育室4施設 家庭福祉員10名 平成23年度に認証保育所を2園新設予定		○	【三橋委員】 利用者数だけでなく、保育サービスや父母の満足度等にも考慮した用かをして欲しい。何より、預けたいところにあずけられる制度が必要。 【文委員】② 待機児童解消のためにもいっそうの充実を求めます。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況(平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
7	幼稚園の預かり(延長)保育	学務課	園児	私立幼稚園の預かり(延長)保育を促進する。	継続	実施園数	実施園5園	実施園4園		○	【三橋委員】 ② 実際の利用者数や入園数への寄与、職員負担度についてはどのように評価しているか？	
8	認可保育所での特定保育及び緊急・一時預かり	保育課	0歳～就学前の子ども	保護者の入院や育児疲れ、短期間・短時間の就労などで子どもの保育を必要とした場合、認可保育所で特定保育及び一時預かりを行う。定員の拡充、実施園の拡充、保育時間の延長を検討する。	拡充を検討	受入人数	利用者数 非定型保育3,650件 緊急530件 私的3,050件 合計7,230件	利用者数 非定型保育6,521件 緊急1,485件 私的3,715件 合計11,721件		○	【三橋委員】 実施している場所(園)や利用者の属性など具体的な実施状況について確認をしたい。 【文委員】 利用者数の増大は、待機児童数の増加と関係があるのでしょうか。 【三橋委員】 ② 今後も利用者の増加が見込まれるのではないのでしょうか？職員体制の充実をしっかりとしていただきたい。 【文委員】 ② いっそうの充実を求めます。	<利用者数増加について> →実施園が増加したため。  <実施場所等について> →公立3園で緊急一時預かりを実施、2園で非定型、緊急、私的保育全てを実施。民間では5園で全ての事由の一時預かりを実施。
9	待機児童解消方針の策定	保育課	待機児童	計画的に待機児童の解消を図るため、保育施設(公立及び民間認可保育所・認証保育所・保育室・認定子ども園・家庭福祉員)の整備、保育環境格差の解消などの具体的方針(年度版)を策定する。	実施	待機児童数	未実施	未実施			【池田委員】 なぜ、未実施なのか。待機児童はいないのか。 【齋藤委員】 待機児童の減少のために対策を希望します。 【高橋亜美委員】 待機児童が100名以上もいるなかで、のびゆく子どもプランもなにもないとさえ思う。また潜在化している待機児童も多くいるなかで、早急な対策が必要とされる。 【三橋委員】 24年度に保育計画を策定する予定と伺っているが、その具体的な計画策定項目と、計画策定後の待機児童解消の具体的なプラン等の方針について確認したい。また、保育計画策定自体に市民参加が出来るように検討してほしい。 【文委員】 「保育計画」を実施困難にしている理由はどこにあるのでしょうか。 【三橋委員】 ② 待機児童解消は待ったなしであり、計画に対する期待は大きい。策定にあたっては、その前提の確認や手続きが大事であり、市民に透明性のある手続きをお願いしたい。 【文委員】 ② 「保育計画」の早急な策定を求めます。	<未実施について> →策定に向け、平成24年度予算計上する。
10	保育室の認証保育所への移行支援	保育課	認可保育所	既存の保育室の認証保育所への移行を促進する。	推進	移行の保育室数	未実施	未実施			【池田委員】 推進とあるのに、なぜ、未実施なのか。 【齋藤委員】 未実施の理由は？ 【高橋亜美委員】 未実施の理由を明確にしてください 【三橋委員】 未実施の理由と今後の改善見直しについて確認をしたい。	<未実施の理由について> →移行を働き掛けを行うも、各保育室の方針等により実績がなかったため、結果として未実施となってしまったもの。平成23年度は1園実施。
11	保育サービスの質の向上	保育課	認可保育所	第三者評価を受けることにより、保育の質の向上を図る	公立保育所の実施	利用者による満足度	公立未実施、民間6園実施	公立1園実施、民間7園実施		○	【三井委員】 保育の質とは何か？ 【三橋委員】 第三者評価は実施されてきているが、父母へのフィードバックがきちんと行われていない。改善をして頂きたい。 【文委員】 ② これからの子育て世代が求める保育の「質」を考えるためのミーティング、たとえば「児童福祉審議会」の開催などを希望します。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

⑤ 学童保育を充実します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	学童保育事業	児童青少年課	小学校低学年の子ども	放課後保育を必要とする小学校低学年児童(1年～3年)に対する健全育成を図る。	学年延長、時間延長を検討		受付期間内の希望者については、施設の定員を超えて措置。平成20年4月1日、655人在籍	受付期間内の希望者については、施設の定員を超えて措置。平成22年4月1日、695人在籍		○	【三井委員】 定員に対して、指導員の適正な配置がされていないと指導員より聞くことがある。 【文委員】 指導員体制の数的充実も、事業内容に入れることが必要ではないでしょうか。 【三橋委員】② 時間延長については、公立保育園の父母からは学童関係者の理解を頂いたうえで、保育園と同程度(19時)まで実施して欲しいという声が多く挙がっている。 【文委員】② 指導員体制の数的拡充も、事業内容に入れる必要があると思います。	
2	学童障害児保育の充実	児童青少年課	障害のある子ども	学童保育所において、受け入れ可能な障害児の受け入れ充実を検討する。また、臨床心理士や言語聴覚士等の専門家による巡回相談や指導を行う。	継続	施設数	平成18年より学童保育所全所で2名まで受け入れ。平成20年度は5ヶ所で受け入れ(10名) 年3回(学期に1回)相談員が巡回し、相談事業を実施	平成18年より学童保育所全所で2名まで受け入れ。平成20年度は5ヶ所で受け入れ(10名)(平成22年度は8ヶ所受け入れ)(14名) 年3回(学期に1回)相談員が巡回し、相談事業を実施		○	【三井委員】 障がい児は増加傾向。希望の施設で受け入れられるよう措置が必要。 【高橋智委員】 ①「受け入れ可能」な障害児という枠組みをなくし、希望する障害児の学童保育を保障する方向に改善する。②「2名まで受け入れ」という枠組みをなくす。③巡回相談・指導の件数・具体的内容を明示する。④学童保育所指導員の障害児学童保育の関する専門性の向上のための研修制度の整備 【三橋委員】② 大事な施策だと思いますので、しっかりとした対応をお願いします。 【文委員】② 今後とも継続的に進めて下さい。	<巡回指導の件数・内容について> 一年3回(学期に1回)の巡回を実施。 学童保育所の安定的な運営を図るため、指導員向けに実施している。
3	学童保育所の整備	児童青少年課	小学校低学年の子ども	大規模化した学童保育所について、分割をすることで解消を図る。また、老朽化が著しい施設について、建替えや改修により、環境の整備を行う。	充実	分割、改修状況	未実施 平成22年度より、5ヶ所で分割予定	平成22年4月より5ヶ所で分割実施。平成24年度より2ヶ所で分割実施		○	【三井委員】 分割した後の指導員体制が問題になっている。 【三橋委員】② 施設や指導員体制の分割を行っているが、実際は分割をせずに指導を行っているなど、実態に合っていないケースがある。そもそも完全に分割をしたのであれば、指導員は別々に配置(人数は増加)すべきではないか？ 【文委員】② 指導員体制の数的拡充も、事業内容に入れる必要があると思います。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

⑥ 子育てしやすい職場環境を目指して、情報提供と支援に取り組みます

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	雇用・再就職にかかわる支援事業の広報	経済課	市民	子育てをしながら早期の就職を希望する方に、関係機関の作成するパンフレットなどの配布に務める。また、「こがねい仕事ネット」を通じ市内の求人と就労に関する情報提供をする。	継続		カウンターに設置し周知	カウンターに設置し周知		○	【池田委員】 カウンターに置いてあることは、市報等で広報しているのか。 【佐野委員】 カウンターに設置してどの程度配布され入るのか？ 【三橋委員】② 問い合わせ件数、ハローワークへの紹介件数は？ 仕事ネットの情報提供状況は？ 【文委員】② 「こがねい仕事ネット」のなおいっそうの告知・広報努力をお願いします。	<配布枚数等について> 一配布枚数については、把握出来ず。情報を仕事ネットへの即時掲載、問合せはハローワークと連携する等の体制を整えている。
2	再就職の支援	経済課	市民	子育てなどで仕事をやめた男女の再就職支援をするための各種技術技能講習会、心の相談、就労相談など専門カウンセラーのいる関係機関の紹介、セミナーの案内等を行い、年2回都との共催により労働講座を開催し、各種労働情報等関係機関の作成するパンフレットなどの配布に務める。また「こがねい仕事ネット」を通じ市内の求人と就労に関する情報の提供をする。	継続	実施回数	労働講座 2回	労働講座は計画停電の影響で中止 こがねい仕事ネットで求人情報及び就労に関する情報を継続的に提供した		○	【三橋委員】② 今後の対応方針は？ 【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

(4) 子育て、子育てに困難を抱える家庭を支援します

① ひとり親家庭を支援します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス派遣	子育て支援課	ひとり親家庭	義務教育修了前の子どもがいるひとり親家庭で、家事または育児などの日常生活に支障がある場合、ホームヘルパーを派遣する。	生活の改善 子育て支援	利用世帯数	世帯数10世帯(うち、父子世帯2世帯)	10世帯(うち父子世帯2世帯)		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
2	母子福祉資金の貸付	子育て支援課	母子家庭	都内に6カ月以上住んでいて、20歳未満の子を扶養している母子家庭の母に対し、各種資金の貸付けを行う。	生活の改善 子育て支援	貸付件数	貸付件数13件	貸付件数12件		○	【高橋亜美委員】 ①貸付件数が半数になった理由は？貸し付け相談は実際に何件あったのか？②東京都の母子福祉資金の平成22年度の貸し付け総件数は8033件数である。総数に対して小金井の貸付件数がどう位置づけ意味づけられるか検討したい。③周知のための取り組みや、説明の仕方など利用に至るまでの丁寧なサポートが必要であることはいうまでもない。  【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	<貸付件数減少理由について> →平成20年度と22年度の件数の取り方に違いがあったものの、20年度の基準で数字を取ると12件(▲1件)となる。 (※記載している実績を修正いたしたと思います。)なお、貸付総件数だと17件になる。  <相談件数について> →相談件数は15件。貸付に至らなかった3件は1件が相談者からの取下げ、2件が平成23年度に貸付に至ったもの。
3	母子家庭相談事業	子育て支援課	母子家庭など(一部は父子家庭)	経済上や生活一般に関する相談や自立に必要な指導、母子福祉資金などの受け付け、母子自立支援員が行う。	母子家庭の自立 生活の改善	相談件数	2,034件(父子63件)	2,504件(父子89件)		○	【齋藤委員】 母子自立支援員の方の丁寧な相談支援に感謝します。  【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
4	母子生活支援施設への入所支援	子育て支援課	母子家庭	児童(18歳未満)の養育が十分にできない母子家庭に対し、経済的事情にかかわらず、母子生活支援施設への入所支援を行う。	生活の改善 子育て支援	入所世帯数	入所世帯数12世帯	入所世帯数24世帯		○	【文委員】 母子生活支援施設の施設概要を教えてください。  【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	<母子生活支援施設の概要について> →18歳未満の子がいる母子等が、入所する施設。自立促進のために生活を支援する。
5	母子緊急一時保護	子育て支援課	母子家庭	緊急に保護を要する母子を東京都と連携し一時的に母子緊急一時保護事業施設へ入所させ、必要な保護と相談、指導などを行う。	生活の改善 子育て支援	世帯数	世帯数6世帯	世帯数7世帯		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
6	母子家庭自立支援教育訓練給付事業	子育て支援課	母子家庭	母子家庭の母が就労に就く際に必要な教育訓練を受講した場合に、その経費の一部を支給する。	母子家庭の自立 生活の改善	支給件数	1件	1件		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
7	母子家庭高等技能訓練促進費事業	子育て支援課	母子家庭	母子家庭の母が就職する際に有利な資格を取得するときに、受講期間中の生活負担の軽減を図り、資格の取得を推進するため、促進費を支給する。	母子家庭の自立 生活の改善	支給件数	該当なし	4件		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
8	児童育成手当	子育て支援課	ひとり親家庭など	18歳に達した年度の末日(障害のある場合は20歳未満)までの児童がいるひとり親家庭に手当を支給する。	継続	対象児童数	年3回支給(4ヶ月分) 育成手当支給対象児童数732人	年3回支給(4ヶ月分) 育成手当支給対象児童数774人		○	【高橋亜美委員】 小金井市のひとり親家庭数は？①児童育成手当は東京都市部の支給対象者の平均は1960人②小金井市と人口の近い昭島市は1436人、東久留米市は1305人③ひとり親家庭数をもとに比較してみたい  【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	<小金井市の母子世帯について> →小金井市の母子単身世帯440世帯、父子単身世帯131世帯。 →昭島市の母子単身世帯810世帯、父子単身世帯100世帯。 →東久留米市お母子単身世帯799世帯、父子単身世帯133世帯 いづれも、平成22年度国勢調査結果
9	児童扶養手当	子育て支援課	母子家庭	18歳に達した年度の末日(障害のある場合は20歳未満)までの児童のいる母子家庭などに手当を支給する。	継続	受給者数	年3回支給(4ヶ月分) 受給資格者数450人	年3回支給(4ヶ月分) 受給資格者数484人		○	【高橋亜美委員】 上記同様に東京都市部の児童扶養手当支給対象者の平均は1315人②昭島市は993人、東久留米市は914人  【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
10	母子自立支援プログラム策定事業	子育て支援課	母子家庭など	児童扶養手当受給者等に対し自立・就労支援を実施するため、母子自立支援プログラム策定を行い、就労を促進する。また、就労支援セミナーを開催し、母子家庭の母の就労とキャリアアップに役立てる。	母子家庭の自立 生活の改善	就労決定件数 セミナー参加者数・参加者アンケート	相談件数19件、申込件数11件、就労決定8件 就労支援セミナー(2日間開催)延参加者数18人	相談件数32件、申込件数26件、就労決定15件 就労支援セミナー(2日間開催)延参加者数15人		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

① 障害や特別な配慮が必要な子どもと家庭を支援します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	障害の早期発見(乳幼児健康診査)	健康課	子ども	各種の乳幼児健康診査や保健相談等の中で障害を早期発見し、その障害にあった適切な支援を行う。	継続		経過観察健康診査: (年12回)延人数100人 発達健康診査: (年12回)延人数30人 心理経過観察健康診査(個別・集団): 1歳6か月 (個別年24回)延人数111人(集団年12回) 延人数118人 3歳児 (個別12回)延人数80人(集団年12回)延人数119人	経過観察健康診査: (年12回)延人数84人 発達健康診査: (年12回)延人数8人 心理経過観察健康診査(個別・集団): 1歳6か月 (個別年24回)延人数122人(集団年12回) 延人数118人 3歳児 (個別12回)延人数100人(集団年12回)延人数105人		○	【高橋智委員】 ①健康診査・保健相談等で早期発見された障害乳幼児の具体的な数や障害名は？、②「障害にあった適切な支援」とは具体的にどのような支援を実施したのか。  【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
2	障害児通所訓練事業(ピノキオ幼児園など)	保育課	訓練を必要とする2歳～5歳の子ども	心身の発達に障害のある幼児に対し、日常生活訓練、機能・言語訓練を行う。入園できない幼児や保育所・幼稚園等に通う幼児に対しても、通園して訓練が受けられる場づくりを検討する。また、公募を検討する。	拡充を検討	日常生活、機能、言語等の訓練回数	15名在籍 生活訓練2,434件(延べ件数) 機能訓練255件(延べ件数) 言語訓練261件(延べ件数) 未入園の幼児に対しては未実施	15名在籍 生活訓練2,555件(延べ件数) 機能訓練263件(延べ件数) 言語訓練263件(延べ件数) 臨床心理相談 児童13件、大人28件 未入園児童に対しては園舎開放を実施 23年度4月入園受付より公募を実施		○	【三橋委員】 拡充として十分という評価か？ 新たに開設される発達支援センター事業についてはこの項目が該当するか？  【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	<発達支援センター事業について> →発達支援事業については、後期行動計画策定時に、本進捗状況調査票のP.26-事業番号16「子どもの発達相談と福祉サービスの充実」の中で想定しています。
3	児童育成手当(障害)	子育て支援課	障害のある20歳未満の子どもを育てている保護者など	障害のある20歳未満の子どものいる保護者などに手当を支給する。	継続	対象児童数	年3回支給(4カ月分) 障害手当対象児童数39人 障害・育成手当対象児童数6人	年3回支給(4カ月分) 障害手当対象児童数53人 障害・育成手当対象児童数8人		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
4	心身障害者(児)通所訓練等運営費補助	障害福祉課	心身障害者(児)通所訓練などを運営する民間団体など	経費の一部を補助することにより、保護者負担の軽減を図り、在宅の心身障害者(児)の自立を促進する。	推進	補助金額 利用者数	延べ利用者数13,260人 補助金額65,467,267円	延べ利用者数8,052人 補助金額32,703,582円		○	【高橋亜美委員】 補助金額が半減した理由は？それに伴ってか利用者数は5千人以上減っている 【文委員】 目標値は推進になっているので、おそらく把握されていると思ってお聞きします。利用者数と補助金額の減少の理由を教えてください。  【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	<利用者数と補助金額の減少について> →当該補助金対象事業所が、障害者自立支援法に規定する新体系事業(事業補助金)に移行したことによる金額及び通所者数の減少。平成20年度7施設、平成22年度4施設となっている。
5	心身障害者(児)短期入所事業(緊急一時保護)	障害福祉課	心身障害者手帳、療育手帳(愛の手帳)を持つ子ども	保護者または家族の疾病、事故、出産などのため、緊急に保護が必要となった場合に、障害者福祉センターや桜町病院、その他の施設で一時保護する。	継続	利用者数	延べ利用人数282人	延べ利用人数120人		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
6	心身障害者(児)ホームヘルパーサービス事業	障害福祉課	身体障害者手帳、療育手帳(愛の手帳)を持つ子どもの家族	身体障害者手帳、療育手帳(愛の手帳)を持つ児童の家族が、家事や介護の日常生活に支障がある場合に、ホームヘルパーを派遣する。	継続	利用者数	延べ利用人数156人	延べ利用人数144人		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
7	心身障害者(児)介護人派遣事業	障害福祉課	身体障害者手帳、療育手帳(愛の手帳)を持つ障害者(児)の保護者または家族の疾病、事故、出産、兄弟姉妹の学校行事などのために保護が必要となった場合に介護人を派遣する。				派遣日数58日	派遣日数96日		○	【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。 【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	<取組内容等について> 一実利用者数概ね5名程度。利用者が介護人(民間篤志家)を見つけ、市に申請し、介護人の派遣に要する費用を市で負担するもの。障害者自立支援法に則したサービス(居宅介護事業等)があるが、緊急性等に鑑み、制度の谷間を埋める事業としての必要性から事業を行っている。ハンドブックへの掲載や窓口相談時に案内を行い事業を周知している。
8	小中学校特別支援学級	指導室	障害のある子ども	知的障害や情緒障害等、難聴・言語障害のある子どものため、教育環境の整備を行う。	拡充	個々の障害に応じた指導	知的障害学級:梅の実(一小)2学級、さくら(二小)2学級、6組(二中)2学級 情緒障害等学級:大空(二小)4学級、くじらぐも(南小)2学級、I(愛)組(一中)1学級 難聴学級:こだま(二小)1学級 言語障害:ことば(二小)2学級 知的障害学級に介助員5人配置	知的障害学級:梅の実(一小)3学級、さくら(二小)3学級、6組(二中)3学級 情緒障害等学級:大空(二小)3学級、くじらぐも(南小)3学級、I(愛)組(一中)1学級 難聴学級:こだま(二小)1学級 言語障害:ことば(二小)2学級 知的障害学級に介助員5人配置		○	【高橋智委員】 ①小学校に比して中学校の特別支援学級・通級指導学級の数が顕著に少ないが、それを改善整備するための具体的な計画はどのようなものか、②通級指導学級へのニーズが顕著に高いのは、小金井市だけでなく全国的な動向であるが、すべての小中学校への配置に向けた整備計画を策定しないのか。 【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	<①及び②について> ①中学校の特別支援教育学級については、平成24年度固定学級の増設の準備をし、平成25年度開校する予定である。 ②「明日の小金井教育プラン」に全校に特別支援教室を配置する計画を示している。
9	日曜クラブへの支援	障害福祉課	社会福祉法人	特別支援学級や特別支援学校に在学している生徒が交流やコミュニケーション、余暇の楽しみ方を感じて成長することを目的にしている。企画は日曜クラブ実行委員会が行い、運営を社会福祉法人に委託している。	継続	委託金額、利用者数	参加者数233人	参加者数226人		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
10	障害児のグループ活動への参加促進	児童青少年課	障害のある子ども	児童館で実施する小学生の低・高学年のグループ活動に障害児が参加する場合、ボランティア指導員の配置を行う。	検討		未実施	未実施	館のバリアフリー化等は順次進めて来ているところであるが、各事業への参加等、人的な配慮が必要な場合においては障害の程度や種類など、個々のケースにより利用者と相談し、個別に対応している	○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
11	心身障害児童生徒学校外活動	生涯学習課	障害のある子ども	市立小中学校特別支援学級の在籍者および都立特別支援学校の幼稚部から高等部までの在籍者を対象に、文化、スポーツ・レクリエーション活動を行う。	同様の事業を継続し、参加人数の拡充に向け検討	実施日数・参加人数	水泳教室を年15回、またレクリエーション活動を年4回実施。その他に東京都多摩障害者スポーツセンターで開催された水泳記録会に参加。懇親会等を行い、ボランティアと児童・生徒、保護者との交流事業を実施した。参加児童・生徒数403人、指導者等401人	水泳教室を年14回、またレクリエーション活動を年5回実施。その他に東京都多摩障害者スポーツセンターで開催された水泳記録会に参加。懇親会等を行い、ボランティアと児童・生徒、保護者との交流事業を実施した。参加児童・生徒数403人、指導者等401人		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
12	障害者(児)水泳教室	生涯学習課(スポーツ振興係)	障害のある子ども	心身に障害のある20歳未満の子どもが水に触れる喜びを実感するため、水に慣れることから泳ぎを習得するところまで指導を行う。また、対象者の安全と指導効果を配慮してマンツーマンの指導体制をとる。	継続	アンケートによる満足度	参加者68人 2日間ずつ実施 アンケートによる満足度:良	参加者79人 2日間ずつ実施 アンケートによる満足度:良		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	
13	障害者計画等の策定・改訂	障害福祉課	障害のある人	障害福祉計画第2期策定に伴い、併せて平成17年3月に策定した障害者計画の改訂を地域自立支援協議会の中で行った。	平成20年度実施		地域自立支援協議会開催(全7回)平成21年3月策定	地域自立支援協議会開催(全11回)		○	【文委員】② 支援体制のいっそうの充実をお願いします。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
14	障害児の緊急・一時預かり	保育課	障害のある子ども	保護者の病気などで障害のある子どもの保育を必要とした場合、一時預かりを行う。	検討		未実施	未実施			【池田委員】 検討は始まっているのか。 【齋藤委員】 未実施の理由は？ 【高橋亜美委員】 未実施の理由は？ 【高橋智委員】 緊急・一時預かりは障害児支援の中でも重点施策であるが、それがずっと未実施の理由は何か、早急に実施していくための課題を明らかにすべきである。 【三橋委員】 未実施の理由等要確認  【文委員】② 民間NPOが取り組んでいる訪問型サービスを検討してほしい。	<未実施、検討状況について> 一けいき保育園、ピノキオ幼児園の区画整理に伴う移転にあわせて実施予定。
15	障害のある幼児・児童の図書館利用の促進	図書館	視覚および聴覚障害のある幼児・児童	点字絵本の製作と蔵書の充実、布絵本の購入、子ども向け図書の録音および対面朗読を行う。	継続		点字絵本の購入、さわる絵本・布絵本などバリアフリー絵本を展示した	点字絵本の購入、さわる絵本・布絵本などバリアフリー絵本を貸し出した		○	【文委員】② 支援の充実をお願いします。	
16	子どもの発達相談と福祉サービスの充実	子育て支援課	発達の心配のある子ども(18歳未満)と保護者	ひとりひとりの子どもの特徴に沿った発達を支援するために、障害の早期発見と療育ができる体制整備や発達支援等の相談機能の充実を図ります。	発達相談ネットワークの充実	相談件数利用者の声	子育て支援課/子ども家庭支援センター「発達相談」118件	子育て支援課/子ども家庭支援センター「発達相談」245件		○	【齋藤委員】 発達支援センターができて相談やサービスがうけられるようになるともっと充実するのではと思います 【高橋亜美委員】 相談件数が倍増していて取り組みの充実が伺える 【高橋智委員】18歳までの発達支援だけでなく、生涯にわたる発達支援に向けた「生涯発達支援課」の設置と「生涯発達支援センター」の開設は焦眉の緊急課題である。  【文委員】② 支援の充実をお願いします。	
		保育課					保育課/平成21年度から、言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士が公立保育所を巡回	保育課/言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士が保育所を巡回		○	【高橋智委員】 巡回指導の回数、利用者数は？ 【三橋委員】 評価基準に掲げている相談件数及び利用者の声について確認したい。  【文委員】② 支援の充実をお願いします。	<巡回指導の回数、利用者数について> 一公立保育所各園2ヶ月に1回、8時間の実施となっている。保育士向けの巡回指導で、保育士からは、「子どもへの関わり方が明確になる。」との声が上がっている。民間保育所は補助金を支給し、各園の事情に応じて7園で実施している。
		児童青少年課					児童青少年課/学童保育所で年3回(学期に1回)相談員が巡回し、相談事業を行った。また、東児童館で発達相談を12回実施し、24人参加した。	児童青少年課/学童保育所で年3回(学期に1回)相談員が巡回し、相談事業を行った。また、東児童館で発達相談を12回実施し、27人参加した		○	【文委員】② 支援の充実をお願いします。	<発達支援等の相談機能の充実について> 一発達支援事業の構築に向け、意見交換会を開催し、検討を行っている。
		健康課					健康課/乳児発達健康診査 12回 30人受診(対象者35人) 受診率85.7%	健康課/乳児発達健康診査 12回 8人受診(対象者24人) 受診率33.3%		○	【高橋亜美委員】 受診率が下がった理由は？ 【高橋智委員】 発達健康診査の受診率が低下した理由は？  【文委員】② 支援の充実をお願いします。	<受診率の減少について> 一受診者の日程が合わず、他の同機能をを持った健診に回ってもらったため。
		障害福祉課					障害福祉課/就労支援センター、障害者福祉センター、地域生活支援センターそら/相談件数 17,701件(障害のある方全体の件数)	障害福祉課/就労支援センター、障害者福祉センター、地域生活支援センターそら/相談件数 826件		○	【文委員】② 支援の充実をお願いします。	
	指導室(教育相談所)									○	【文委員】② 支援の充実をお願いします。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

③ 外国籍の子どもと家庭を支援します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22~26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答				
								平成22年度事業実績	未実施等の理由							
1	各国の言語による情報提供	広報秘書課  学務課  ごみ対策課  その他関係各課	外国籍の子どもと保護者	外国語によるガイドブック、ハンドブック等の作成や生活に関する情報の提供を行う。市や教育委員会などのホームページでも提供する。	広報秘書課／継続	広報秘書課／部数	広報秘書課／「外国人ガイドブック」(06版)を外国人転入者、希望者に配布	広報秘書課／「外国人ガイドブック」(2011年版)を3,000部作成し、外国人転入者、希望者に配布		○	【高橋亜美委員】 「外国人ガイドブック」は何語で作成されていますか？ごみカレンダー同様に英語、中国語、ハンガルの説明があるかと思いましたが。  【文委員】② ガイドブックの改訂を定期的に行ってほしい。その場合、ぜひ留学生に協力を求められたい。	<外国人ハンドブックについて> 一英語、中国語、ハンガルの作成している。				
								学務課／引き続き、編入学等について英語によるホームページで情報の提供を行った					○	【高橋亜美委員】 小金井市在住の約半数が中国人なので、中国語の表記もあればより親切だと思いました。  【文委員】② 継続的にお願いします。		
								ごみ対策課／ごみカレンダー(英語、中国語、ハンガルの説明を掲載)を全戸配布/90,000部							○	【文委員】② 継続的にお願いします。
								その他関係各課／検討								
2	各国の言語通訳の派遣業務	指導室	外国籍の子どもと保護者	外国籍の児童・生徒に対して、日常生活および学習指導を円滑に営めるように、日本語指導補助員及び通訳を派遣する。	継続	利用者数	利用児童・生徒10人	利用児童・生徒12人		○	【文委員】 就労という形ではない留学生の応援を頼むことはできないのでしょうか。 【高橋智委員】 東京学芸大学には世界各国から約500人の留学生(国費派遣の教師・研究者・大学院生を含む)がいるが、彼らの支援を頼むことは十分に可能である。  【文委員】② 就労という形をとらない、留学生の協力を求められたい。					
3	外国人相談	広報秘書課	外国籍の子どもと保護者	市内に住む外国人の相談や情報提供に関し、英語などの公用語を話せる相談員を配置する。	1回1回の相談開催、PR等を継続	相談件数	相談件数5件	相談件数1件		○	【高橋亜美委員】 小金井市在住の外国人は約2,200人いるが、その数に対して年間の相談数が1件というのは少なすぎないか？外国人居住者への情報提供・開示の仕方などより丁寧に行なわれるべきだと思う。  【文委員】② 1件は、あまりに少ないと感じる。利用を妨げている要因の洗い出しを検討してほしい。					
4	各国の言語による本の整備	図書館	外国籍の子どもと保護者	子どもの絵本を中心とした外国語書籍の充実を図る。	充実	書籍数	英語743冊、中国語14冊、ハンガール17冊、その他36冊	英語765冊、中国語14冊、ハンガール17冊、その他36冊		○	【文委員】 留学生の知恵を借りることはできないのでしょうか。 【高橋智委員】 東京学芸大学には世界各国から約500人の留学生(国費派遣の教師・研究者・大学院生を含む)がいるが、彼らの支援を頼むことは十分に可能である。  【文委員】② 留学生の協力を求めてほしい。					

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

④ 家庭での子育て、子育てが困難な場合にきめ細やかな支援をします

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	養育困難家庭への総合支援	子育て支援課	子ども保護者	子ども家庭支援センターに、保健師・社会福祉士等の専門職を複数配置し、児童虐待の未然防止、対応機能の強化を図る。 児童福祉施設への入所が必要な子どもを持つ家庭などからの相談を受けた場合、児童相談所と連携を取りながら支援を行う。	継続	相談実人数	児童虐待相談 実人数61人 延べ人数226人 その他養護相談 実人数54人 延べ人数163人	児童虐待相談 実人数88人 延べ人数532人 その他養護相談 実人数71人 延べ人数523人		○	【齋藤委員】 相談件数の増加に伴い職員の増員も必要だと思います。 【高橋亜美委員】 東京都内の児童虐待相談件数は実人数で4450件、全国では5万件を越える。児童虐待問題を社会問題と認知し、早期発見・介入の為に施策がより充実することを切望する。 【文委員】 相談延べ人数の伸びから判断して、目標値を「拡充」にできないのでしょうか。 【文委員】② 支援のいっそうの充実をお願いしたい。	
2	里親制度の紹介と周知	子育て支援課	子ども保護者	保護者がいないか、保護者がいても養育できない子どもを家庭的雰囲気の中で育てる制度。制度の周知を図る。	東京都と協力して周知に努める	出席者数	養育家庭体験発表会(児童相談所と共催)年1回	養育家庭体験発表会(児童相談所と共催)年1回		○	【高橋亜美委員】 参加者人数は？養育家庭では被虐待の子どもの受け入れもしており、今後社会的養護の認知を高めていくためにも体験発表会は年2回くらいあるとよいと思います。 【文委員】② 支援のいっそうの充実をお願いしたい。	<参加者数について> →23名の参加
3	養育支援訪問事業	子育て支援課	特定妊婦、要支援家庭	育児をする上で妊娠期からの継続支援を特に要する家庭、不適切な養育状態にある家庭など虐待のおそれやリスクを抱えた家庭に対し、子ども家庭支援センターが関係機関とともに支援を行う過程で、期間を設定し育児支援ヘルパーを派遣する。	拡大	利用者数	平成21年度より事業開始	養育支援訪問事業ヘルパー派遣人数7人		○	【高橋亜美委員】 児童虐待早期発見・介入に繋がる事業だと思いません。①利用料はかかりますか？②22年度の利用者は？③事業の周知の為に取り組んでいることは？ 【文委員】② 支援のいっそうの充実をお願いしたい。	<利用料、利用者数、周知方法について> →①利用料は非課税世帯負担無し、課税世帯は1時間1,000円 ②利用者数は7名 ③周知は、事業の性格上、行っていない。

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

3 次世代につながる地域の子育ち、子育て環境を整えます

(5) 地域の子育ち環境を整えます

① 一人ひとりを大切にしたい幼児教育、学校教育を推進します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	一人ひとりを大切にしたいゆとりある教育	指導室	子ども	一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育を行う。	継続	実施学校数	各学校において総合的な学習の時間を中心に実施(中学校:職場体験、小学校:外国人・障害者・高齢者との交流活動)	各学校において総合的な学習の時間を中心に実施(中学校:職場体験、小学校:外国人・障害者・高齢者との交流活動)		○	【高橋亜美委員】 実施学校数は? 【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。  【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	<実施学校数について> →小学校9校、中学校5校、全校で実施している。  <取組内容等について> →地域や子どもの実態に応じて各学校で総合的な学習の時間の全体計画、年間指導計画を定めて実施している。特に職場体験は生徒の実施後の変化が顕著に見られ効果的である。
2	幼稚園、保育所、小中学校の交流と連携	学務課	子どもと保護者	幼稚園、保育所、小学校、中学校および社会教育機関等が連携し、子どもの健全育成を図る。また、子どもの問題を話し合う情報交換会を開催する。	学務課/未定	学務課/実施回数	学務課/実施	学務課/実施		○	【齋藤委員】 実施回数は? 【高橋亜美委員】 実施回数は? 【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。  【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	<実施回数について> →実施はしているものの、各園や学校の事情に応じて実施しているため、回数は把握できていない。
		指導室			指導室/継続	指導室/実施学校数	指導室/実施	指導室/実施		○	【齋藤委員】 実施回数は? 【高橋亜美委員】 実施回数は? 【高橋智委員】具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。  【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
		保育課			保育課/検討	保育課/未定	保育課/実施	保育課/実施		○	【齋藤委員】 実施回数は? 【高橋亜美委員】 実施回数は? 【三橋委員】 具体的な実施の回数・時期などを教えて欲しい。また、実施による効果等はどうか?  【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
3	国際性を育む教育	指導室	小学生、中学生	外国人英語指導助手の導入による外国語教育、外国文化との交流、国際理解教育を行う。また、地域の大学や居住する外国人との交流を図る。	継続	実施時間数	外国人英語指導助手(ALT)の活用 中学校:1学校あたり 30日/年 小学校:1学級あたり 25時間/年	外国人英語指導助手(ALT)の活用 中学校:1学校あたり 30日/年 小学校:1学級あたり 25時間/年		○	【高橋智委員】 東京学芸大学には世界各国から約500人の留学生(国費派遣の教師・研究者・大学院生を含む)がいるが、彼らの支援を頼むことは十分に可能である  【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
4	私立幼稚園協会補助金	学務課	私立幼稚園協会	幼稚園協会が行う事業への補助金交付する。	継続 平成21年度特別支援教育事業費(障害児分)新設 960,000円交付	補助金額、活動内容	731,000円交付	1,691,000円交付		○	【高橋智委員】 学校教育法等の一部改正により2007年度から国公私立の移管を問わず、幼稚園から高校までの特別支援教育の実施が制度化された。幼稚園における特別支援教育の充実のために、市立幼稚園を有しない小金井市においては私立幼稚園への補助金交付の拡充に努めるべきである。  【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
5	ノーマライゼーションの普及	地域福祉課	市民	高齢者も子ども、障害のある人もない人も、社会の構成員として生きがいをもって生活し活動できる社会を築くため、ノーマライゼーションの普及を行う。	地域福祉課/小金井市 地域福祉計画の策定 障害福祉課/推進		地域福祉課/東京都福祉のまちづくり条例に定める建築物の新設または改修に伴う届出受理件数4件	地域福祉課/東京都福祉のまちづくり条例に定める建築物の新設または改修に伴う届出受理件数4件		○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
		障害福祉課					障害福祉課/障害計画等推進市民会議開催(2回) 障害者週間記念事業の実施(平成20年12月6日)	障害福祉課/障害者週間事業の実施(平成22年12月4日) 障害のある人の理解のための説明会を実施(主任職者対象、3回、参加延人数202人)		○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」（小金井市次世代育成支援後期行動計画）事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答	
								平成22年度事業実績	未実施等の理由				
6	食育の推進	健康課	子ども保護者	子どもの発達段階に応じた食に関する情報提供など、食育に関する支援を行う。また、食育推進会議や食育推進検討委員会を開催し、事業の円滑な推進を実施する。	健康課／継続	参加人数他	健康課／ ①マタニティクッキング 4回・47人 ②離乳食教室 12回・137人 ③こどもクッキング 4回・36人	健康課／ ①マタニティクッキング 4回・38人 ②離乳食教室 12回・165人 ③こどもクッキング 4回・31人		○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。		
		保育課			保育課／継続			保育課／ 公立保育所において、食育計画や年間行事計画を作成し、季節に応じた食育事業を実施。また、毎月「給食だより」により、啓発を行う	保育課／ 保育所において、食育計画や年間行事計画を作成し、季節に応じた食育事業を実施。また、毎月「給食だより」により、啓発を行う		○	【高橋智委員】 子どもの食べ物への過敏・アレルギーや栄養の偏り・肥満が急増しており、対策・支援が要されている。こうした点からの食育・給食の在り方、教職員の研修の見直しが必要である。 【三橋委員】 左記は、民間保育所も食育計画等が策定されたと理解してよいか？食育推進会議等とは何か？活動報告には何も記載が無いが？ 【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	<民間保育所の食育計画等策定について> 一民間保育所での食育計画は策定無し、各園で対応している。小金井市の食育推進計画等についての情報を提供している。 <食育推進会議等について> 一食育推進会議は食育推進計画の作成及び実施に関する事項の調査・審議を行う。公募委員他で構成する会議。食育推進検討委員会は、食育の推進に関する施策を総合的かつ計画的に行う庁内関係各課長で構成する委員会。
		指導室			指導室／継続			指導室／ 研究授業 2回・50人 講演 1回・15人	指導室／ 研究授業 1回・17人 情報交換 1回・17人		○	【高橋智委員】 子どもの食べ物への過敏・アレルギーや栄養の偏り・肥満が急増しており、対策・支援が要されている。こうした点からの食育・給食の在り方、教職員の研修の見直しが必要である。 【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
		学務課			学務課／食に関する年間指導計画を各学校において整備する。			学務課／ ①地場野菜を献立に取り入れた給食を2校で実施 ②給食だよりの発行等により献立内容、栄養価等を周知し児童、生徒への啓発を行った ③強化磁器食器の導入等給食の食環境の整備に努めた	学務課／ ①地場野菜を献立に取り入れた給食を全校で実施。また地場野菜を教材として授業を実施し知識を深めた。また生活科、家庭科の授業とも運動し食材の栄養価やバランスの良い献立等について学習し実際の献立に反映させるなどの工夫を行った。 ②給食だよりで栄養価や望ましい食生活等について周知し児童、生徒への啓発を行った ③強化磁器食器の導入等給食の食環境の整備に努めた		○	【高橋智委員】 子どもの食べ物への過敏・アレルギーや栄養の偏り・肥満が急増しており、対策・支援が要されている。こうした点からの食育・給食の在り方、教職員の研修の見直しが必要である。 【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
		その他関係各課						児童青少年課／ 食育推進計画に基づき実施。			○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
7	特別支援教育	指導室	小学生、中学生	発達障害があり、集団生活に適切にできない子どもが、通級指導学級で適切な指導を受けたり、在籍校で学習指導員による個別指導を受けたりすることで、周りの子どもたちとの良好な関係が築けるよう支援する。	指導室／実施回数	指導室／ 指導室／教員研修会実施(年8回)、特別支援学級推進委員会(年10回)、巡回相談(年50回)	指導室／ 指導室／教員研修会実施(年8回)、特別支援学級推進委員会(年10回)、巡回相談(年44回)			○	【文委員】 目標値は空白になっていますが、「拡充」が必要ではないでしょうか。 【高橋智委員】 教員研修会、特別支援学級推進委員会の具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。 【文委員】② 近年取り上げられる子育て問題の中でも重要課題の一つゆえ、研修会の実施回数や相談事業の拡大はもちろんのこと、その他の方策についても、検討する必要がある。	<取組内容等について> 一特別支援コーディネーターを対象に「課題ある児童・生徒への対応」や「ケース会議の持ち方」「通級指導学級との連携」の特別支援教育研修会の実施、特別支援学級推進委員会では各特別支援学級の担任対象に、学級の情報交換、専門性向上のための研修を実施し、指導に活かしている。	
8	特別支援ネットワーク協議会	指導室	子ども	障害のある子どものライフステージを見通し、乳幼児期から学校卒業後までにわたる福祉、医療、労働、教育等が一体となった支援を行うために、福祉、医療、労働、教育等に係る関係機関が互いに連携し、協議を行う。	平成21年度設置	実施回数	未実施	年3回実施		○	【高橋智委員】 ①乳幼児期から学校卒業後までにわたる福祉、医療、労働、教育等が一体となった支援を行うための議論を進めていくには、協議会の開催が3回では少ない。実質的な議論をするためには6回は必要である。②支援を求めるユーザーの声・ニーズが大事にされる時代に来ており、障害を持つ当事者団体や「ひまわりママ」のような親の会の代表の参加が必要である。 【文委員】② 近年取り上げられる子育て問題の中でも重要課題の一つゆえ、研修会の実施回数や相談事業の拡大はもちろんのこと、その他の方策についても、検討する必要がある。		

「のびゆくこどもプラン 小金井」（小金井市次世代育成支援後期行動計画）事業進捗状況

② 子どもが安心して学べる環境を作ります

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答	
								平成22年度事業実績	未実施等の理由				
1	適応指導教室運営事業(もくせい教室)	指導室	小学生、中学生	心理的要因等により登校できない児童・生徒に対し、実態に応じて個別、集団、訪問などの方法により適切な指導・援助を行う。	継続	入所人数	平成20年度入所人数10人	平成22年度入所人数9人		○	【文委員】 もくせい教室の概要を教えてください。 【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。  【文委員】② 継続的な支援を求めます。	<もくせい教室概要について> →集団生活や学校生活になじめず、学校に行けなくて悩んでいる子どもに、学習や様々な活動をおして人との触れ合いの場を提供する場所。  <取組内容等について> →不登校児童・生徒に対し指導と支援を行い学校復帰を目指している。学校復帰が果たせなくとも高等学校への進学を機会に通学できるようになった生徒がいる。教育相談所とも連携を進めている。	
2	スクールカウンセラーの配置	指導室	小学生、中学生	悩みなどを気楽に話し、心にゆとりを持てるような環境を提供するために、各小中学校にスクールカウンセラーを配置する。	継続	相談件数	小学校1,407件 中学校2,752件	小学校1,387件 中学校1,002件		○	【高橋亜美委員】 中学校での相談件数が半減している理由は？ 【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。  【文委員】② 継続的な体制づくりをお願いします。	<相談件数減少理由について> →スクールソーシャルワーカーの配置を行った結果減少したものの。  <取組内容等について> →臨床心理士をスクールカウンセラーとして派遣し、いじめ、不登校、トラブルの未然防止に努めている。成果として各学校の教育相談体制の整備、迅速な解決、保護者も含めた多様な相談に対応できた。	
3	教育相談事業	指導室	子ども	専門相談員による教育相談を実施し、各校の教育相談担当教諭と連携しながら、子どもが抱える様々な問題(虐待やいじめなど)に対応する。また、子ども自身が電話やインターネットで相談できる体制を作る。	継続	相談件数	来所相談 926件 電話相談 56件 メール相談 4件	来所相談 792件 電話相談 23件 メール相談 1件		○	【高橋亜美委員】 どこに來所して相談するのですか？子どもへの周知はされていますか？メールや電話での相談方法が浸透していないと感じます  【文委員】② 継続的な体制づくりをお願いします。	<来所相談場所、子どもへの周知について> →來所場所は教育相談所となっている。教育相談所、相談期間一覧を各学校へ配布し周知している。相談件数の減少は学校のスクールカウンセラーに相談しているための減少。	
4	いじめ・不登校の対策システム  地域福祉課  子育て支援課	指導室	子ども	いじめや虐待、非行、不登校など何か問題に遭遇した子どもを早期に発見し、保護者を支援しながらその原因を取り除き、楽しく学校に通えるようなシステムを作る。また、いじめや不登校等が起こらないような教育や環境づくりを行うために、地域ぐるみの支援ネットワークで支える。	指導室／継続	いじめ件数 不登校者数	指導室／文部科学省「問題を抱える子ども等自立支援事業」を活用し、学校・スクールカウンセラー・教育相談所・もくせい教室が組織的に連携協力し相談活動を行っている。	指導室／学校・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・教育相談所・もくせい教室が組織的に連携協力し相談活動を行っている		○	【高橋亜美委員】 いじめ件数・不登校者数は？  【文委員】② 継続的な体制づくりをお願いします。	<いじめ、不登校者数について> →いじめ小学校6件、中学校5件 →不登校小学校12人、中学校38人	
							地域福祉課／継続	地域福祉課／地区連絡協議会を年1回行い、民生・児童委員、小平児童相談所、教育機関、子ども家庭支援センターとの意見交換等を行っている。	地域福祉課／地区連絡協議会を年1回行い、民生・児童委員、小平児童相談所、教育機関、子ども家庭支援センターとの意見交換等を行った		○	【文委員】② 継続的な体制づくりをお願いします。	
							子育て支援課／継続	子育て支援課／要保護児童対策地域協議会での情報交換と支援	子育て支援課／要保護児童対策地域協議会での情報交換と支援		○	【文委員】② 継続的な体制づくりをお願いします。	
6	学校図書館活動	指導室	小学生、中学生	小中学校図書館に図書館司書または司書教諭の資格のある人を学校図書館補助員として配置し、図書の整理、貸し出し、検索照会サービス、読書指導などを行うことにより学校図書館活動の充実を図る。	継続	貸出数	学校図書館補助員全校に配置。小中学校に週2日(1日5時間)×45週実施	学校図書館補助員全校に配置。小中学校に週2日(1日5時間)×45週実施		○	【文委員】② 継続的な体制づくりをお願いします。		
7	小中学校に安全員の配置	学務課	小学生、中学生	学校内の安全点検と来訪者の応対。	検討		小学校9校で巡回警備実施(1～3学期)	小学校9校で通学路、校庭、外周等の巡回警備を実施 併せて通学路の安全点検を実施(1学期～3学期)		○	【文委員】② 継続的な体制づくりをお願いします。		
8	不審者対策のセーフティ教室	指導室	小学生	不審者対策としての安全教室を実施する。	継続	実施学校数	セーフティ教室小学校全校実施	セーフティ教室小学校全校実施		○	【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。  【文委員】② 継続的な体制づくりをお願いします。	<取組内容等について> →警察など外部講師を招き、不審者から自分の身を守る具体的な方法を学ぶ安全教室を各小学校で実施している。 児童の危機回避能力の向上を図っている。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」（小金井市次世代育成支援後期行動計画）事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
9	小中学校の空調設備の設置	学務課  庶務課	小学生、中学生	よりよい環境で学べるよう小中学校の教室への扇風機・クーラーの設置。	学務課/平成20年度全教室設置済		学務課/扇風機は市内小中学校14校の普通教室に設置。普通教室及び特別教室に設置。計1,588台。  庶務課/クーラーは市立小中学校14校の図書室、音楽室、パソコン教室に設置完了	学務課/平成20年度に全教室扇風機設置済み		○	【文委員】② 設置後の空調についての考慮をお願いしたい。特に小学校などでは、インフルエンザの蔓延との因果関係などを検討する機会が今後必要になってくと思う。	
								庶務課/クーラーの設置 第一小学校 特別支援学級のプレイルーム 第三小学校 第二音楽室 東小学校 特別支援学級の教室・プレイルーム 本町小学校 多目的室		○	【文委員】② 設置後の空調についての考慮をお願いしたい。特に小学校などでは、インフルエンザの蔓延との因果関係などを検討する機会が今後必要になってくと思う。	
10	はげの森美術館教育普及活動	コミュニティ文化課	小学生、中学生	はげの森美術館の教育普及活動として、ワークショップ、鑑賞教育、学校への出前授業などを通し、子どもが美術を中心とする芸術活動に出会い、体験し、ゆたかな感性を育むことに努める。	小学校4年生を主とした対象として、教育普及を積極的に進めている。		ミュージアムツアー: 展覧会開催中の毎週土曜日 ギャラリートーク: 展覧会開催中の毎週日曜日 ワークショップ3回、模写1回、講座3回、市立小学校4年生の鑑賞教室2校、市立小学校4年制の出張授業2校	ギャラリートーク: 展覧会開催中の毎週土曜日 日曜日 ワークショップ5回、模写1回、講演会1回、シンポジウム1回、5周年記念特別展プレイベント1回 市立小学校4年生の鑑賞教室9校、市立中学職場体験学習1校	○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。		

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

③ 子どもが地域の一員となるための学習と交流の場をつくり出す

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	異年齢交流	介護福祉課	市民	小・中・高校生が乳幼児とのふれあいを通じて、社会体験学習と育児感覚を身につけたり、子どもが地域の親、高齢者と交流できる場を設ける。	介護福祉課／継続	介護福祉課／実施件数・参加人数	介護福祉課／老人クラブ会員が、小学校を訪問して昔遊びを教えたり(老人クラブへ補助金を交付)、敬老の日に学童から手作りのプレゼントを受け取ったりして交流を図った(喜寿祝いカードを1,188人に贈呈)。	介護福祉課／老人クラブ会員が、小学校を訪問して昔遊びを教えたり、幼稚園児が老人施設を訪問して交流を図った		○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
	指導室				指導室／継続	指導室／実施学校数	指導室／各学校において総合的な学習の時間を中心に実施(中学校:職場体験、小学校:外国人・高齢者との交流活動)	指導室／各学校において総合的な学習の時間を中心に実施(中学校:職場体験、小学校:外国人・高齢者との交流活動)		○	【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。 【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	<取組内容等について> →保育園や高齢者施設での職場体験を実施している。生徒が社会の成り立ちや進路に対する関心を高めている。
	児童青少年課				児童青少年課／継続	児童青少年課／参加人数	児童青少年課／小・中学生と赤ちゃんの異世代交流事業(本町児童館)6回、32人参加。中高校生と乳幼児のふれあい(東児童館)2回、15人参加。小学生と1.2歳児の交流(貫井南児童館)4回、109人。乳幼児保護者向けライブ(中・高校生世代との交流)1回30人参加。	児童青少年課「小・中学生と赤ちゃんの異世代交流事業15回、23人 「中高校生と乳幼児のふれあい」1回、5人 「小中学生の保育ボランティア」9回、42人		○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
	保育課				保育課／継続	保育課／受け入れ人数	保育課／公立保育所で中学生ボランティアを受け入れ(受入人数22人)	保育課／保育所で中学生ボランティアを受け入れを行っている		○	【三橋委員】 中学生だけでなく、事業内容にある通り、高齢者・地域の方を含めて更なる事業の拡充を実施して欲しい。(但し、保育に悪影響が無いようにするのは大前提)実際の人数は? 【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	<ボランティア人数について> 一概に1回当たり同時に最大3～4名、保育に影響の無い範囲で受け入れをしている。
2	青少年体験・交流事業	児童青少年課	12歳～18歳の子ども	キャンプなどの体験を通して、心身ともに豊かさを育むための事業を行う。	継続	参加人数	わんぱく団の活動(児童館4館合同事業)年1回、小学生75人、ボランティア26人参加	「わんぱく団」(児童館4館合同事業)1回、小学生84人、ボランティア20人参加		○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
3	児童館の整備	児童青少年課	12歳～18歳の子ども	青少年の居場所を児童館につくり、自由に話したり、楽器を演奏したりすることができるように努める。	継続	参加人数	中・高校生世代交流会(本町児童館)1回、4人 中高校生タイム(東児童館)47回、690人 中・高校生対象夜間開館(貫井南児童館)22回、275人 中・高校生対象講座(バンドスクール・デコレーションアート教室、貫井南児童館)7回、29人	中・高校生世代交流会(本町児童館)1回、4人 中高校生タイム(東児童館)44回、478人 中・高校生対象夜間開館(貫井南児童館)22回、357人 中・高校生対象講座(バンドスクール・職業体験、貫井南児童館)7回、34人		○	【齋藤委員】 児童館の形態によってはスペース的に中・高生生の居場所はきびしいのでは 【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
4	市民まつり、子ども週間行事の促進	児童青少年課	子どもと保護者	市民まつりや子ども週間行事を通じて、地域住民や各種団体の協力を得ながら、児童青少年に健全な遊び場を設け、子どもの創意工夫による活動を実施する。	継続	参加人数	市民まつり子ども部門行事・子ども週間行事(各6地区で実施) 市民まつり3,907人参加 子ども週間行事3,445人参加	市民まつり3,214人、子ども週間行事3,107人		○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	
5	地域諸団体への活動支援	児童青少年課	地域諸団体	青少年健全育成地区委員会や子ども会などの地域諸団体に対し、活動支援を行う。	継続		補助金交付事業実施	補助金交付事業実施		○	【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
6	地域人材リストの作成	コミュニティ文化課	コミュニティ文化課、児童青少年課	コミュニティ文化課、児童青少年課	コミュニティ文化課、児童青少年課	コミュニティ文化課、児童青少年課	コミュニティ文化課/NPO法人内閣府及び都認証57団体は、一般的に紹介している。	コミュニティ文化課/内閣府および都認証のNPO法人を一般的に紹介している		○	【文委員】② 仮称「こがねい人材サイト」の開設を望みます。	
		児童青少年課	児童青少年課	児童青少年課	児童青少年課	児童青少年課	児童青少年課/未実施	児童青少年課/未実施	検討中のため			
		生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課/登録者11件	生涯学習課/こがねい市民講師登録者11人(平成23年3月31日現在)		○		
7	まなびあい出前講座	生涯学習課	市民	市民・団体が主催する学習会に市役所の職員が出向き、担当事業などについて話をし、市民の生涯学習を応援する。	継続拡大	参加人数	参加回数/33回、 参加者数/734人	参加回数/54回 参加者数/1,389人		○	【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。  【文委員】② 個人的に利用したこともあります。講座の広報活動にもっと尽力すべきだと思います。市民ニーズの把握をする上で格好の機会だと思うからです。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

④ 子育て、子育てしやすい生活環境等を整備します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答		
								平成22年度事業実績	未実施等の理由					
1	ユニバーサルデザインのまちづくり	交通対策課	市民	ベビーカーや車イスがゆったりと通ることができ、子どもが安全、快適に生活できるまちづくりを行うことにより、誰もがゆたかに暮らし「心のバリアフリー」が実現できるまちづくりを行う。	交通対策課／放置自転車の撤去作業の継続(土・日・祝も拡大実施)。JR中央線高架下も含めた自転車駐輪場設置計画を策定する。	交通対策課／放置自転車の減少	交通対策課／放置自転車の撤去作業を毎日実施(撤去回数241回、撤去台数9,453台)	交通対策課／放置自転車の撤去作業を毎日実施(撤去回数240回、撤去台数9,676台)	○	【文委員】② 中央線高架下のスペースに多くの駐輪場が必要だと思います。				
		障害福祉課	障害福祉課／推進				障害福祉課／活動数	障害福祉課／太陽のひろば参加者数89人				障害福祉課／未実施	開催予定日の前日に東日本大震災が発生したため、安全の確保が困難であるとの判断から中止とした	【文委員】② いっそうの環境整備の充実を希望します。
		ごみ対策課	ごみ対策課／継続				ごみ対策課／実施回数	ごみ対策課／路上禁煙キャンペーンを月1回、毎月実施				ごみ対策課／路上禁煙キャンペーンを緊急雇用創出事業により平成22年12月15日から平成23年2月21日までに40回、市職員ならびにごみゼロ化推進会議委員により毎月1回実施(3月を除く11回の実施)	【文委員】② いっそうの環境整備の充実を希望します。	
		まちづくり推進課						まちづくり推進課／小金井バリアフリーまちづくり基本構想特定事業計画を策定				まちづくり推進課／特定事業計画の進捗状況を確認した	【文委員】② いっそうの環境整備の充実を希望します。	
2	子どもにやさしい自然環境の整備	環境政策課	子ども	国分寺崖線(はげのみどりや湧水などの自然環境の保全のため、意識啓発を図るとともに、みどりを増やし、みどりゆたかで快適なまちづくりを行う。	環境政策課／充実		環境政策課／未実施	環境政策課／滄泉園写真コンテスト、権野公園開園、入学記念樹配布	○	【文委員】② いっそうの環境整備の充実を希望します。				
		その他関係各課												
3	幹線道路の整備	都市計画課	市民	すべての人々が安全で快適な生活が営めるように、歩道空間や道路の整備を行う。	都市計画道路整備事業の推進(21年度新たに都市計画道路3・4・1号線、3・4・8号線及びJR中央本線まちづくり側道の道路整備事業に着手。)	整備が完了することによる安全性について行う	都市計画道路3・4・3号線、3・4・12号線及び3・4・14号線について、道路拡幅のために、用地買取を行った。	都市計画道路整備事業の推進 中央線まちづくり側道整備事業用地(都市計画道路3.4.11号線と都市計画道路3.4.12号線を結ぶ)を取得した 3.4.1号線事業化、3.4.8号線整備に向けて、現況測量報告会を開催した 都市計画道路3.4.3号線、都市計画道路3.4.14号線整備を行った	○	【文委員】② いっそうの環境整備の充実を希望します。				
4	子どもが通る道の安全確保	交通対策課	子ども	子どもが安全に過ごせるよう、学区域にとらわれず、通学路周辺の安全確保を行う。	継続		市内の市立小学校全9校について通学路点検を継続実施	市内の市立小学校全9校について通学路点検を継続実施	○	【文委員】② いっそうの環境整備の充実を希望します。				
5	交通安全教育の推進	交通対策課	市民	交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を推進し、交通事故防止を図る。	継続	回数	交通対策課／交通安全運動期間時において、交通ルールを守ること等の広報及びイベントを実施。	交通対策課／交通安全運動期間時において、交通ルールを守ること等の広報及びイベントを実施	○	【文委員】② いっそうの環境整備の充実を希望します。				
		指導室	子ども				指導室／市立小学校が警察署等と連携して交通安全教室を実施	指導室／市立小学校が警察署等と連携して交通安全教室を実施				○	【文委員】② いっそうの環境整備の充実を希望します。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

⑤ 地域から緑と環境を守ります

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	環境教育や環境学習	環境政策課	子ども	環境政策課/環境行事として環境博覧会の開催を行う。小金井市環境市民会議と共催で、かんきょう博覧会(手をつなごう小金井のかんきょう)を開催している。  指導室/環境副読本の作成配布、緑のカーテンや屋上緑化の推進、ピオトープの活用、CO2削減活動を実施する。	環境政策課/継続	環境政策課/環境展示会入場者数、プログラム件数など	環境政策課/「かんきょう博覧会(手をつなごう小金井のかんきょう)」11月15日(土)～16日(日)実施	環境政策課/「かんきょう博覧会(きらめきひらめき環境まつり)」12月4日(土)～5日(日)実施		○	【文委員】② こと環境問題についての小金井市の取り組みは、充実していると思います。NPO団体との協働事業などもあり、今後とも継続的に取り組んでいただきたい。	
							指導室/各学校に配布(従来の小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学生の冊子を1枚のCD-ROMに納め、各クラス1枚ずつ配布)	指導室/CD-ROMに納めた環境副読本を各学校で引き続き活用、緑のカーテン、屋上緑化、ピオトープ、校庭芝生化等を実施。CO2アクション月間、がんばろう日本節電アクション月間を小・中全校で実施		○	【文委員】② こと環境問題についての小金井市の取り組みは、充実していると思います。NPO団体との協働事業などもあり、今後とも継続的に取り組んでいただきたい。	
2	ごみ減量、資源化啓発事業	ごみ対策課	子ども	環境教育の資料「くらしのなかのごみ減量」の作成、生ごみ処理機の設置などを行う。	資料作成配布及び小中学校児童・生徒を対象とした啓発を実施するとともに、ごみ減量キャンペーンを継続実施	部数 箇所数 回数	生ごみ処理機を市内公共施設に新規3箇所設置し、合計23基が稼働している。 ごみ対策課非常事態宣言キャンペーンを1月に実施。 「くらしのなかのごみ減量」作成/8,000冊	市内公共施設等に設置している生ごみ処理機が合計23基あり、稼働をしている ごみ対策課非常事態宣言キャンペーンを1月と1月に実施 市内小中学校のごみ処理施設見学等に「くらしのなかのごみ減量」等を配布し、啓発活動を合計11回行った		○	【文委員】② こと環境問題についての小金井市の取り組みは、充実していると思います。NPO団体との協働事業などもあり、今後とも継続的に取り組んでいただきたい。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

(6) 地域の子育て環境を整えます

① 保育、教育、子育て支援関係者の学びと交流の場をつくります

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	保育・教育関係者、子育て支援関係者の各種研修	保育課	保育・教育関係者、子育て支援関係者	子どもに関わる保育、教育関係者、子育て支援関係者に対し、各種研修や体験学習の機会を設ける。	保育課/継続		保育課/随時研修の促進を図っている。市、都、任意団体が開催している通知を周知している	保育課/随時研修の促進を図っている。市、都、任意団体が開催している通知を周知している		○	【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。 【三橋委員】 教育・保育双方の観点から、研修や体験学習は必要不可欠であり、更なる拡充を実施して下さい。 【文委員】② 研修体制・機会のいっそうの充実をお願いします。	<取組内容等について> 一年1回の全体研修の他、自主研修制度を利用し、各園の状況に応じて研修を受講(庁内の取得率は1番となっている。)をしており、都からの専門研修の実内等を積極的に各園に情報提供し、受講勧奨を行っている。
		指導室			指導室/継続	指導室/実施学校数	指導室/教育に対する研修は随時行っている	指導室/教育に対する研修は随時行っている		○	【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。 【文委員】② 研修体制・機会のいっそうの充実をお願いします。	<取組内容等について> 一教育課題に応じた研修会を夏期特別研修会として実施している。各学校での体験活動や教育課題解決に活かしている。
		子育て支援課				子育て支援課/継続	子育て支援課/開催回数、参加人数	子育て支援課/育児支援ヘルパー研修会1回開催 15人参加、ファミリー・サポート・センター協会員講習会 16回 延べ202人参加	子育て支援課/育児支援ヘルパー研修会2回開催 32人参加、ファミリー・サポート・センター協会員講習会18回開催 275人参加		○	【文委員】② 研修体制・機会のいっそうの充実をお願いします。
2	ボランティアセミナー	生涯学習課	市民	国分寺市、小平市、小金井市、東京学芸大学とが連携し地域や学校等で活躍するボランティアを養成する講座。ボランティア活動スタートへのサポート、スキルアップを目指す。	継続	参加人数	3講座、全60回実施、参加者は延べ535人	3講座、全30回実施、参加者は延べ842人		○	【高橋智委員】 具体的な取り組み内容、実施の成果・評価が不明である。 【文委員】② 研修体制・機会のいっそうの充実をお願いします。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

② 地域の子育てネットワークを整備します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	子育て支援ネットワーク	子育て支援課 その他関係各課	子ども保護者、関係団体、関係機関	保育所、幼稚園、児童館、学童保育、子ども家庭支援センター、保健センター、子育てサークル、NPOなどの子育て支援ネットワークづくりを目指し、相互援助と情報発信を行う。	子育て支援課/拡大・検討	子育て支援課/連携の円滑度	子育て支援課/認可保育所(12箇所)巡回相談 年24回	子育て支援課/認可保育所(12箇所)巡回相談 24回 貫井南児童館出張講座開催 1回		○	【文委員】② ネットワーク強化のひとつの方法として、また広報活動の一環として、コミュニティサイトの開設を望みます。	
2	子ども向けの広報活動	広報秘書課	子ども	さまざまな施設の利用方法、行事予定、施策などの情報を公開するため、市報や各種広報媒体で情報を発信する。	継続 年1回、子ども・青少年特集を掲載	子どもの作文や投稿作品の市報掲載数	月2回市報を発行。児童館や公民館のイベント記事のほか、広報掲示板でイベントポスター等を随時掲示	月2回市報を発行し、児童館や公民館などのイベントを周知しているほか、市報平成23年1月1日号で「子ども・青少年特集」として、子どもからの投稿作品59点を掲載 広報掲示板でイベントのポスター等を随時掲示		○	【文委員】② ネットワーク強化のひとつの方法として、また広報活動の一環として、コミュニティサイトの開設を望みます。	
3	子育てグループへの活動支援	子育て支援課	子育てグループ	市内の自主的な子育てグループなどのネットワーク化をはかりながら、活動への支援を行う。	継続	参加者数・回数	さくらんぼ(多胎児の親の自主グループ)年4回、参加者親58人、子ども83人 KG委員会(ゆりかごひろば利用者の自主グループ)年12回、参加者81人	さくらんぼクラブ(多胎児の親の自主グループ)年4回、参加者親70人、子ども88人 KGママ(ゆりかごひろば利用者の自主グループ)年12回、参加者135人 ひまわりママ(発達にアンバランスのある子どもの親の自主グループ)年12回、参加者137人		○	【文委員】 目標値は「継続」よりも「拡充」がふさわしいのではないのでしょうか。 【文委員】② ネットワーク強化のひとつの方法として、また広報活動の一環として、コミュニティサイトの開設を望みます。	

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

③ 男女がともに子育てと社会参加できる環境をつくり、ワーク・ライフ・バランスを目指します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	人権尊重、男女平等の啓発、普及	企画政策課	市民	人権尊重と男女平等の意識づくりの啓発、普及を行い、情報収集や相談およびDV被害者支援などを行う。	継続	人権意識と男女平等の意識づくりのための広報活動及び情報収集は、長期的に継続して行う必要があり、市民と協働し事業を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こがねいバレット…第22回の開催150人参加 記録集500部発行</li> <li>・情報誌「かたらい」…第28号、29号各3,500部発行</li> <li>・男女共同参画シンポジウム…開催45人参加</li> <li>・国内研修事業参加補助金…実績なし</li> <li>・緊急一時保護施設運営補助金交付</li> <li>・女性総合相談…毎週(原則)金曜日午後実施/専門カウンセラーによる相談65件</li> <li>・再就職支援講座開催(参加10人)</li> <li>・男女平等都市宣言普及啓発冊子「新成人のみなさんへ」発行800部(4課共同印刷)</li> <li>・市報「みんなのひろば」による情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こがねいバレット…第24回の開催58人参加 記録集500部発行</li> <li>・情報誌「かたらい」…第32号、33号各3,000部発行</li> <li>・男女共同参画シンポジウム…開催23人参加</li> <li>・国内研修事業参加補助金…実績あり(1事業に参加する5名に交付)</li> <li>・緊急一時保護施設運営費補助金交付</li> <li>・女性総合相談…金曜日午後実施(実施しない金曜日あり)/専門カウンセラーによる相談81件</li> <li>・再就職支援講座開催(参加39人)</li> <li>・男女平等都市宣言普及啓発冊子「新成人のみなさんへ」発行797部(4課共同印刷)</li> <li>・市報「みんなのひろば」による情報の提供</li> </ul>		○	<p>【三井委員】 こがねいバレットの趣旨がよくわからない。参加人数も多いとは言えない。運営に関わった方以外で一般の来場者数の調査も必要では？</p> <p>【文委員】② さらなる充実をお願いします。</p>	
2	男女の協力による子育ての推進	子育て支援課	子ども保護者	男性の育児・子育て参加を促進し、親子のふれあいをとおして、ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画社会の実現を目指す。	子育て支援課/父親ハンドブックの作成検討及び啓発活動	子育て支援課/講座等の実施回数と参加者数、利用者アンケート、啓発活動の回数、度合い、参加者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援課/父親講座 年3回 参加者延50人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援課/父親講座 年3回 参加者延33人</li> <li>・お父さんと遊ぶ(ゆりかごひろばで父親と子どもの専用あそび場を毎週土曜日設置)参加者親97人、子ども102人</li> </ul>		○	<p>【三井委員】 市内の企業への働きかけも必要。</p> <p>【文委員】② いっそうの推進をお願いしますが、そのためにも、まず、行政の皆さんが、率先して、模範的なワーク・ライフ・バランスに取り組んでいただきたいと思ます。</p>	
		保育課			保育課/プレママ・プレパパ事業の充実	保育課/参加者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育課/公立保育所でプレママ・プレパパ事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育課/公立保育所及び私立保育所でプレママ・プレパパ事業を実施</li> </ul>		○	<p>【三井委員】 男性の育児参加という意味では、根本的には働き方の問題にもなるが、まずはプレーデーやBBQなど男性が主体となるイベントも効果的である。</p> <p>【文委員】 プレママ・プレパパ事業の概要を教えてください。</p> <p>【文委員】② 継続的な取り組みをお願いします。</p>	<p>&lt;プレママ・プレパパ事業概要について&gt; →出産前の保護者が、保育所の0歳児保育の見学を行い、保育士相談をとおして、出産後の参考にしてもらうもの。</p>

「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市次世代育成支援後期行動計画) 事業進捗状況

④ 使いやすい公共施設の改善と活用を行います

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	目標値・実施内容(平成22～26年度)	評価の方法	現況 (平成20年度)	進捗状況		子どもの権利に関する条例の反映	推進市民会議委員記入欄 事業に対する質問・意見等	質問回答
								平成22年度事業実績	未実施等の理由			
1	小中学校の施設開放・活用  生涯学習課(スポーツ振興係)	生涯学習課	市民	地域住民の生涯学習の場あるいは地域福祉のために、施設の開放や活用を図る。	生涯学習課／継続	生涯学習課／参加人数	生涯学習課／土曜日・日曜日・祝日・春季・冬季休業中の市立小学校9校の校庭開放を実施(午前8:30～12:30、午後13:00～17:00。12月から2月の冬季は午前12時まで、午後は12:30～16:00、まで)。	生涯学習課／土曜日・日曜日・祝日・春季・冬季休業中の市立小学校9校の校庭開放を実施(8:30～12:30、13:00～17:00。12月から2月は8:30～12:00、午後は12:30～16:00)、遊び場開放6,982人、団体開放73,067人		○	【齋藤委員】 遊び場開放の人数が少ないのではと思います。	
									生涯学習課(スポーツ振興係)／継続	生涯学習課(スポーツ振興係)／①利用者数 ②利用者数 ③利用者数	生涯学習課(スポーツ振興係)／ ①「スポーツ開放校」3,434人(小学校3校・中学校1校、各校1種目) ②「一中クラブハウス」12,353人(22団体) ③「南中テニスコート夜間開放」559人(12団体)	生涯学習課(スポーツ振興係)／ ①「スポーツ開放校」2,864人(小学校3校・中学校1校、各校1種目) ②「一中クラブハウス」12,253人(22団体) ③「南中テニスコート夜間開放」77人(8団体)
2	子育てに配慮した公共施設の改善  その他関係各課	子育て支援課	子どもと保護者	子連れで来館しやすいよう施設の環境を整備する。既存の市の施設については、おむつ替え、授乳スペースを設置する等、子育てに配慮する。	子育て支援課／継続	子育て支援課／利用者の声(ひとことポスト)	子育て支援課／子ども家庭支援センターゆりかごで実施	子育て支援課／子ども家庭支援センターゆりかごで実施		○	【高橋亜美委員】 子ども家庭支援センターは位置的に利用しづらい人も多くいるのでは？子ども家庭支援センターの出張所が駅近くにあると便利だと思います。	
									その他関係各課／継続	その他関係各課／検討	生涯学習課／文化財センターは乳児の利用者が少ないため専用スペースは設けていないが、必要に応じて場所の提供を行う	